# No.63 >>> Contents

●トピックス	
日本と中国との「備忘録」の調印と「2019 中日シルク協力フォーラム」の開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ー般財団法人大日本蚕糸会―――	<b>- 0</b>
「純国産繭」を使用したものづくり ・・・・・・ 株式会社やまと 取締役商品本部兼事業創造本部長 乃一勝美 歴史の絹織物再現 -山車祭礼にみる懸装幕類の復元と新調-	- 3
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(一財)西陣織物館 顧問 藤井健三─── ●蚕糸・絹業史のひとコマ	<b>-                                    </b>
二大生糸輸出港の横浜・神戸、養蚕農家愛読雑誌「蚕糸の光」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・シルク博物館 元部長 小泉勝夫	<b>- 8</b>
●研究・技術情報	
九州大学におけるカイコの系統保存のねらいと役割について ・・・・・・・・・・ 九州大学 家蚕遺伝子資源学分野 教授 伴野 豊 ――――――――――――――――――――――――――――――――――	- <b>1</b> 2
●蚕糸・絹業団体情報	
西陣織会館の近年の取り組み・・・・・・ 西陣織会館 館長 大槻 ゆづる―――	<b>- 3</b>
●イベント情報 ————————————————————————————————————	<b>- 3</b>
●一般財団法人大日本蚕糸会から	
2019 年度第 2 次分の純国産絹マーク使用許諾状況 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	<ul><li>9</li><li>32</li><li>39</li></ul>
●蚕糸絹関係博物館一覧 ————————	<b>— 4</b> 0
●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧 ―――――	<b>- 3</b>
●統計資料(統計資料の詳細は統計資料目次をご覧下さい。)	<b>— •</b>

## 日本と中国との「備忘録」の調印と 「2019 中日シルク協力フォーラム」の開催

#### 一般財団法人大日本蚕糸会

一般財団法人大日本蚕糸会は、7月2~6日、中国を訪問し中国絲綢協会会長ほか幹部との交流を行いました。7月3日には、日中合同で中国蘇州市で、「シルク産業交流と発展のための備忘録」の調印式と「2019中日シルク協力フォーラム」を開催しました。

備忘録の調印は、既に 2006 年当時の日中の絹業団体である日本絹業協会と中国絹業協会との間で、シルクに関する情報交換、学術、技術の交流、産業の発展など両国の協力を構築するため調印されています。

今回の調印については、調印項目は、 2006年と同様ですが、当時の調印した団体は既に解散等で存在しないため、日本絹業協会の事業を承継した「一般財団法人大日本蚕糸会会頭小林芳雄」と中国のシルク団体である「中国絲綢協会会長唐琳」氏との間で改めて調印したものです。なお、備忘録の有効期間は、科学技術等が急速に進展している最近の状況を考慮し「調印日から10年間」としました。

この機会に、中国絲綢協会の提案により、 日本と中国の関係者により、養蚕から製糸、 絹織物など一連の産業等の現状と今後の発 展方向の検討などを目的としたシルク協力 フォーラムの開催となりました。

日本側としては、一般財団法人大日本蚕 糸会小林会頭他、蚕業技術研究所及び蚕糸 科学研究所両所長など6名(内1名は通 訳)。中国側は、前述の唐会長ほか約100 名のシルク関係者が、会場である中国蘇州 市太湖のほとりに建つ蘇州湾艾美酒店(フ ランス資本系 ル・メリディアン蘇州ホテ ル)に集いました。

フォーラムでは、中国企業が展開する繭 生産から絹織物までの体制確立の経緯や全 齢人工飼料育を実施している企業の繭生産 状況、製糸機械の開発や生糸の電子検査、 煮繭技術の意見交換等両国の最新技術の紹 介、技術交流等 9 人からの報告を行いまし た。

特に今、中国では日本同様に全齢人工 飼料育が注目を浴びています。浙江省の 「浙江巴貝 (バーベイ)集団有限公司」は、 2012年から研究を開始し、2018年には 年間 10,000トンの生繭生産を行うことが できる大規模施設をつくりました。「毎日、 繭を生産することができます」との発言が ありましたが、残念ながらその詳細につい ては、聞くことはできませんでした。

また、ホテルが建つ「蘇州市呉江区」に



写真 1 備忘録調印式で署名 (前列右 一般財団法人大日本蚕糸会 小林会頭 前列左 中国絲綢協会 唐会長)

ある、「震沢絲綢小鎮」(震沢地区でのシルクの街)の活動状況について、管轄する蘇州市呉江区震沢鎮人民政府の書記(最高責任者)・顧全氏からシルクの街つくりの経緯、今後の発展のための施策等について大きなスクリーンで力強く説明をいただきました。

この地は、もともとシルク関連企業等が多く存在し、シルクが基幹産業です。ここに、真綿布団等絹製品の製造会社「蘇州太湖雪絲綢股份有限公司」などを中心に、古い街並み等を組み合わせ観光地として、中国国内に認知されています。



写真 2 フォーラムで、日本の蚕糸業の 状況報告をする小林会頭

このほか多くの報告がありましたが、どれも中国の蚕糸絹業の大きさが際立ったものでした。前述のように、1企業が養蚕に参入し日本の年間繭生産の100倍の繭量を計画するなどがその一例です。

加えて、日本参加者と中国の報告者との 間での意見交換、会場からの質疑等受け、 盛会裏に終了いたしました。

今回、備忘録の調印式、シルク交流フォーラムの開催を行いましたが、次回、時期を考慮し、日本国内の蚕糸絹業等企業の参加を得て、日本での交流の機会を検討したいと考えています。



写真 3 調印式及びフォーラム参加者全員での記念写真

## 「純国産繭」を使用したものづくり

#### 株式会社やまと

取締役商品本部兼事業創造本部長 乃一勝美

当社は全国 121 店舗(2019年3月末現在)、創業から 102年のきもの小売業として、産地・生産者の方々のご尽力、お客様のご支持のおかげをもって日々営業を続けさせて頂いております。きものの小売を専門としておりますが、長年、産地と共にものづくりを担いながら、社業に邁進してまいりました。

#### 1. 当社の歩み

昭和時代、当社は、オリジナルきものの 創作を軸に、当時では画期的といわれた、『値 引きなしの正札販売』を導入、『全国を同一 価格』のチェーンストア展開を進めました。

平成時代、『きもの文化』を支える3つの文化(=お客様の『着る文化』、産地の『創る文化』、私どもの『売る文化』)を共に育て、護ることを理念とし、フォーマル・高額が主流となっていたきものの「ファッション化」、「カジュアル化」、「アパレル化」に10年スパンで取り組みました。そして2007年、『きものの森構想』を掲げ、多様な生態系のある森のように、素材と価格の幅、きものへの入り口となる間口の拡大に取り組み、きもの本来の魅力溢れる世界の実現を目指して参りました。

令和時代に入った、2019年4月、「KIMONO

DREAM MAKERS」というステートメントを掲げ、『きもので心躍る夢』を実現していく会社として、新たなスタートを切りました。

#### 2.ものづくりの仕組みの転換

次なる時代に向け、国内産地の『ものづくり』持続の危惧から、川上(製造)・川中(問屋)・川下(小売)を有機的に結ぶ『きものサプライチェーン』の実現に当社は取り組んでいます。

『サプライチェーン』とは、川上~川下までのものづくりを一貫して統括し、計画的な発注をすることで、ロスを無くし、生産者への利益配分を厚くするとともに、消費者にとっても買いやすい価格を実現するという取り組みです。

ものをつくる各段階が、個別の利害や垣根を越えて、原料産地から消費者の手に届くまでの全プロセスを繋げる1つの流れ=サプライチェーンを形づくらなければ、きもの業界に未来はないという考えがその背景にあります。

#### 3. 純国産繭から創作する加賀友禅

当社は、2017年度、サプライチェーン のひとつのモデルタイプとして『純国産繭 から織り上げた「やまと絹」生地使用の『加賀友禅』の生産に取り組みました。

きっかけは、(一財)大日本蚕糸会様、 碓水製糸(株)様から『6A生糸プロジェ クト』のお話を伺い、純国産糸使用の構想 が広がったことが、このモデルタイプ実現 のきっかけとなりました。

それまでは、「中国糸やブラタク糸の方が品質は良い」というイメージが一般的でしたが、養蚕農家様のご努力と碓氷製糸(株)様の技術開発により、節が少なく、細くて均一な6A生糸作りが成功し、『純国産素材』に取り組む可能性が開けました。

実際、撚糸の職人さんからは「ブラタク 糸の6Aよりも糸が良い」というお話や、 機屋さんからは「この糸は凄く綺麗で、節 も少なく非常に織りやすい。もし、また織 らせていただけるなら是非織らせていただ きたい。」という嬉しい声もいただきました。

具体的なものづくりは、養蚕から製糸・ 撚糸・製織・染・販売を1つの流れとした サプライチェーンの構築から始めました。

その後、各社とプロダクションの意図(全体像)を正しく共有、各社に理解と協力を得ることから始めたことで、従来型のお互いがリスクを負う形ではなく、各工程の工夫により極力、ロスを出さないものづくりが可能となりました。結果として、ロス

は、ほぼゼロとなり、創り手の皆さんへ適 正な利益配分(一部工賃アップ)をした上 で、中国糸を使用したときと同じ上代で展 開し、お陰様で多くのお客様にお求め頂く ことができました。

結果的にこの加賀友禅は、 $20 \sim 30$  代に 約 40% と、若いお客様にもお買上げいた だけたのが大きな特徴です。

今迄の純国産糸は、通常生糸価格の 1.5~ 2 倍と高額であり、一部の富裕層向けの高額品の展開中心だったため、市場が限定されていました。しかしこれからは、今回の加賀友禅と同じように、純国産糸を適正な価格で提供できる環境を整え、市場を拡大していくことが重要であると考えています。

#### 4. サプライチェーンによる『良質の連鎖』

大量に作って多少ロスが出ても良いというような「少品種・大量生産」の時代は終わりました。日本の人口が減少していく中、どう「多品種・少量生産」で適正な利益を出していくのかという「パラダイムチェンジ」が起きていますが、それに対してこの業界はまだ対応できていない部分が多いように思います。

今回のものづくりのポイントは、「良質 の連鎖」だと当社は考えています。川上で 良いものができていけば、川中では「どう

『サプライチェーンによるものづくり』

養蚕		製糸		精練		織		友禅染め		加賀友禅		販売
養蚕農家		碓氷製糸㈱		丸八生糸㈱		江原産業(株)		(株)カネヒサ コーポレーション		加賀友禅作家		(株)やまと
群馬	$\Rightarrow$	安中	$\Rightarrow$	京都	$\Rightarrow$	丹後	$\Rightarrow$	金沢	$\Rightarrow$	金沢	$\Rightarrow$	全国
繭		原糸		撚糸		白生地		加賀友禅		加賀友禅		お客様へ

流通させるか、どうロスを無くすか」を努力するし、川下も「利益を上乗せして上代を上げるのではなく、適正価格で展開し、どうやってお客様にその商品の良さを理解してもらうか」という努力が必要になってきます。お互いの利益とロスの分配の方法を全て考えることで起こるのが「良質の連鎖」です。その「良質の連鎖」を生む新しい関係が、サプライチェーンというフラットな関係の構築であり、それが新しい時代に合ったモノづくりだと考えています。

加賀友禅 作品名 『ブーケ』 29.9 万円 (お誂え仕立付)

#### 5. 今後の当社の取り組み

当社の純国産絹への取り組みは、2017年に加賀友禅訪問着(丹後ちりめん)、2018年には加賀友禅訪問着(丹後ちりめんと十日町紬)、それに合わせた帯(西陣)と少しずつ拡大しつつあります。

今後は十日町にて付下訪問着、奄美大島で本場大島紬、それに合わせた帯を博多で創作と、全国産地に広げ、純国産繭の生産、並びに国産糸の供給を増やしてゆくことを計画しております。



加賀友禅 作品名『ホワイト・レイ』 29.9 万円 (お誂え仕立付)



西陣袋帯 23万円(お誂え仕立付)

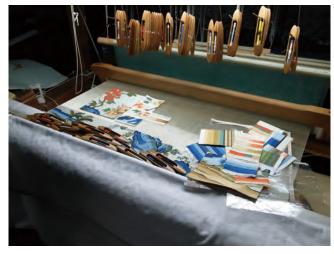
## 歴史の絹織物再現 -山車祭礼にみる懸装幕類の復元と新調-

(一財) 西陣織物館

顧問藤井健三

「山車祭り」という言葉で総称されている祭礼が日本各地にある。平穏な暮しと繁盛、豊作また病気や災害の忌避を祈って神々に奉仕をする祭事だが、有りったけの財と労を投じて神々を喜ばそうと営まれてきた。とくに近世期初頭に鉾や山、屋台と呼ばれる山車を連ねて町中を巡行する風習が流行し、それを大名が庶民の遊楽として保護したことから、風流と数奇で凝らした贅沢な山車飾りが全国に広まっていった。そんな行事が今も続いて各地で行われていて、祭の見せ場や楽しみになっている。

このような祭事の仮設物である山車や 屋台を美しく飾ったのが絹製の染織幕であり、華麗に装って町へ練り出した山車の姿はこの世のものと思えない程にきらびやかだった。始めの頃は紅毛船や唐船の舶載した絨毯類や綴錦を使って幕を作り、また日本の錦や金襴織を幕に用いて山車に懸装したのである。そして、江戸の中頃には我が国でも絹製の綴錦が作られるようになり、幕に絵様の表現が可能となって種々の物語を神々しく著して山車を飾った。さらに後期になると多彩な立体表現の刺繍技術が完成し、内容と共に外観を一新した幕飾りが見られるようになった。ところでこうした



原幕と下絵を側にして、熟練の手技で根気よく 古式の表情を復元する綴織現場。

懸装染織品の製作に武具調度を製作するための特別高度な技術を応用し、また、それを可能にしたのが大名貸しをする程に経済力を持った町衆だった。地元の祭の維持に寄与した旦那衆の力添えがあったからこそ各地の山車祭りが繁栄したのである。大名も容易に調達できない高級染織の幕を備えて、この期に山車の懸装品を製作する絹工芸の技術と表現が頂点に達していた。

しかし、今はそんな祭の懸装幕も数百年の時を経て利用も限界に達している。錦や綴織物に損傷が目立ち、刺繍は糸が解れて図柄も明瞭でない。かつての賑わいに心を寄せる町では、祭の伝統美を再現しようと



純国産の絹糸を用いて懸命な努力と最高の技術で 復元作業を進める刺繍の現場。

歴史に倣った復元幕の新調を試みられよう としている。

だが特別仕様の幕の技法と材料の入手は 困難で、それが製作の足枷ともなっている。 その第一に復元製作の材料となる絹糸の確 保と品質に大きな課題がある。絹糸加工の 染色や織の技法、そして加飾や縫製の技術、 さらに金糸の調達も窮地を迎えて不安な現 況がある。

近世以前の絹糸に今のような諸糸を見ないし、甘撚り糸で実に膨らみのある柔らかい表現がされている。こうした細繊度の絹糸が得られる養蚕は可能なのか。またどのように精練をしたのか解らないが、今も黄褐変がなく絹の白度が保たれている。さらに深く鮮やかな天然染色の色調についても染色技法が伝承されていない。耐光や摩擦、汗堅牢度は大丈夫か、そんな材料と技術が再び出来ないとは決して思えない。余談だが現在の天然染色の技法は近代にドイツか

らワグネルが伝えた手法であり、親しみの ある藍染も藍葉の種類と色素抽出に幾つか の手法があったとする。さらに錦織物は近 代に力織機を利用して工業的に発達をみた ものの、表現と技術に個性を失って種類が 少なくなった。

他にも心配なのが製作に必要な道具類が 調達できないことだ。職人が少なくなって 道具の需要が少なくなったことに原因があ るらしい。どの道具が欠けても製作は続け られない。

近代から現代に産業化をして成長してきた染織業だが、工芸製作の特質である個性や多様性を失って、規格外に美を求める工芸技法に対応できなくなったのが悔やまれる。高機能を誇る現代の化学繊維も実は絹糸を目標に過去に開発されたことを思い出して、これらを解決する文化の知恵を授けて欲しい。美しい染織の美を甦らせる日はあるのだろうか。

## 蚕糸・絹業史のひとコマ

# シルク博物館 元部長 小泉勝夫

## その17 二大生糸輸出港の横浜・神戸

横浜と神戸の両港は、これまでわが国か ら生糸を輸出した二大港であった。

神戸港についてみると、輸出港としての 歴史は非常に古く、古代から外国との交易 の窓口として発達した。すでに5世紀ごろ には瀬戸内海を利用した海運が盛んになっ ており、中国(宋)や朝鮮半島(新羅・高 句麗・百済の国)との交流が盛んに行われ た港であった。

このころの港は人工的に整備された施設 ではなく、強風や荒波を防ぐ自然の入り江 が利用されていた。

神戸港の歴史が資料に見られるようになったのは萬葉集や摂津風土記である。この中に「武古の水門」「敏馬の浜」が記されている。敏馬の浜は現在の神戸市中央区脇浜町あたりにあったと云われている。一方、武古の水門は神戸説と西宮説があって、この場所は特定されていない。

ところが8世紀ごろになると、これらの地よりも少し西に移って「大輪田の泊」(泊とは港のこと。現在の神戸市兵庫区)が使用されるようになった。大輪田の泊は当時の人たちによって人工的に築港されたといわれ、この築港に使われた花崗岩の岩橋が昭和27年に行った運河浚渫工事で20数個発見され、その内の一つが神戸市兵庫区島上町に保存(写真1)されている。この



写真1 「大輪田の泊」の石椋 保存場所:神戸市兵庫区島上町2丁目 2012年8月撮影

ような重量約4トンもある巨石を3~4段に積み上げて築港したと推定されている。

この大輪田の泊のある一帯は、東南の 強風と荒波がしばしば発生し、停泊中の船 舶が転覆することもあった。このようなこ とから日宋貿易に力を入れていた平清盛 (1118~1181年)は、こうした転覆事故 を防ぐために、大輪田の泊の修復工事を行 うと共に瀬戸内海航路の安全に力を入れた ことが知られている。

鎌倉時代から南北朝、室町時代になると、朝鮮半島や明国(現在の中国)との貿易が盛んになり、兵庫・神戸の地は重要な機能を果たす港になった。

神戸の地形は河川の流砂によって三角州を形成し、深い入り江と共に扇状をしていたことから、古くから扇港と呼ばれ、東側の入り江を「神戸の浦」(神戸港)、西側を

「兵庫の津」(兵庫港)と呼ばれ、船舶の良好な停泊地であった。兵庫の津は大輪田の泊の北側に築港された港で、室町時代には日明貿易の拠点として繁栄した。

このように、神戸の海岸線一帯は時代の変遷と共に発達していった。しかし、豊臣秀吉が天下をとると、大坂港が栄えるようになり、兵庫の津は活力を失うことになったが、江戸時代になると再び賑わいを取り戻した。

幕末の神戸開港は横浜港よりも 10 年近 く遅れたが、1867 (慶応3) 年 12 月 7 日 (新暦 1868 年 1 月 1 日) であった。

一方、横浜港は神戸港のような古い歴史は なく、港ができたのは 1859(安政 6)年である。

開港場に決まるまでは閑静な半農半漁の 100戸ほどの村(横浜村)であった。この 村が幕末に開港場と決ると、3か月足らず の突貫工事で港や外国人の居留地、日本人 の居住地、東海道から開港場への道路建設、 運上所(現在の税関)の設置などを行って 開港日に間にあわせた。

開港した神戸、横浜両港では、それぞれ



写真 2 神戸港での生糸積み込み風景 出典:神戸絹市場三十周年記念委員会 「生糸絹織物と神戸」(1954年)から引用

に生糸の輸出がはじまった。しかし神戸港からの輸出量は横浜港に比べると非常に少なかった。

その後、神戸からの生糸輸出は衰微しかけたが、明治20年代に入り復調の様相を呈するようになり、1896(明治29)年には横浜と共に生糸検査所が設置された。しかし、神戸からの生糸輸出が振るわず検査所の業務は少なかったため1901(明治34)年3月に閉鎖された。

その後、生糸輸出は殆ど横浜一港で行われてきたが、1923(大正12)年9月1日の関東大震災によって、横浜港が壊滅的な状態に陥ったため、神戸からも生糸輸出が再び行われるようになった。

第1表 横浜・神戸両港からの生糸輸出量

年次	総輸出量	うち横浜	うち神戸
大正 13	372,564 担	323,365 担	49,149 担
昭和元	442,978	362,056	80,922
// 4	580,950 百斤	425,341 百斤	155,609 百斤
<i>''</i> 8	484,035	338,576	145,453
<i>"</i> 21	86,427 俵	56,929 俵	29,498 俵
// 30	86,514	70,282	16,232
<i>''</i> 40	17,285	13,455	3,830
<i>''</i> 49	786	179	607

出典:大正13年~昭和8年までは「昭和14年7月蚕糸 業要覧」、昭和21年以降は「昭和57年版蚕糸業要覧」 から抜粋

注:単位の担・百斤・俵はいずれも 60 kg

この震災を期に両港からの生糸輸出が再開され太平洋戦争後も続いた(第1表参照)。

しかし、こうした両港からの大量の生 糸輸出は、国内の蚕糸業の衰退によって、 1974(昭和49)年をもって終了した。

## その18 養蚕農家愛読雑誌「蚕糸の光」

太平洋戦争終結後、間もなくして発行さ れた養蚕関係の月刊誌に「蚕糸の光」があ る。この雑誌名を聞くと非常に懐かしく思 う読者が多いことでしょう。

戦争終結後の国民生活は、衣食住すべてに わたって事欠く日々が続いていた。政府は国 民の極度の食糧不足の窮状を解消するため、 桑園 15万 ha を食糧生産に転換しようとし ていた矢先に、連合国軍最高司令官総司令部 (以下 GHO という。)は、桑園転換を指し止 め、昭和20(1945)年10月11日付けで「蚕 糸製造に関する件」の覚書を日本政府に発し、 貿易品となる生糸生産のため蚕糸業の振興に 取り組むよう命じた。生糸は食糧の見返り物 資として最も手っ取り早い効果的な輸出製品 として取り扱われた。

その後も GHO は次々と覚書を発し、蚕 糸振興の施策を実施させた。

このような占領下にあって、養蚕農家の 全国組織である全国養蚕販売農業協同組合 連合会(以下、全国養販連という。)が農 業協同組合法に基づいて 1948 (昭和 23) 年10月に設立された。養蚕業界を代表 する全国養販連は、その後、1955(昭和 30) 年7月に名称を全国養蚕農業協同組 合連合会(以下、全養連という。)に変更 し養蚕業の振興に引続いて取り組んだ。

全国養販連やその後の全養連は、養蚕振興 を推進することによって農家の生産能率を高 め、養蚕経営の安定と改善を図り、社会的地



写真 1 第 2 代目創刊号表紙

位の向上に寄与することを目的に取組んだ。

全養連の主要な具体的事業をあげてみる と、生産に必要な桑園専用肥料・蚕室蚕具 消毒剤及び蚕体消毒剤・回転蔟などの蚕具 類や養蚕資材・蚕舎等の購買斡旋、共同利 用施設の設置、養蚕技術と経営向上を図る ための教育情報の提供と農家指導用の機関 誌「蚕糸の光」の発行、経済的地位改善の ための団体協約の締結、繭糸価格安定のた めの事業推進、絹製品の開発及び販売、絹 需要増進運動の実施など養蚕業全般にわた る幅広い事業に取組んだ。

略称「全養連」の名称は、諸事業を通じ て全国の農家をはじめ蚕糸関係者に広く知 れわたった。

雑誌「蚕糸の光」の発刊は、上述のように 全国養販連に始まり、その後の全養連の主要 事業の一つであっただけに、内容は充実して おり農家の新技術の導入と生産性向上、優良 繭の生産に大きく寄与し、内外の蚕糸情勢な どを伝達する役目を果たしてきた。

雑誌「蚕糸の光」の歴史を見ると、すで に明治末期に発刊されていた。

当初は大日本蚕糸会によって 1926 (明治 45)年3月、農村の女性を対象に創刊された。

その後、本誌は1932(昭和7)年6月号から大日本蚕糸会と全国養蚕組合連合会(戦前の組織)の共同発刊となったが、1940(昭和15)年からは全国養蚕組合連合会が単独で発刊することになった。しかし、太平洋戦争の戦局が厳しくなった1943(昭和18)年に、同連合会は中央農業会と合併し、この際に長いこと続いた本誌は廃刊となった。

第2代目の「蚕糸の光」は戦後、改めて 全国養販連によって発行されることになり、 1948(昭和23)年7月に第1巻第1号(写 真1参照)が誕生した。多くの養蚕農家や 蚕糸技術者などが待ち望んだ雑誌であった。

農家は本誌の購読によって戦後の新しい 蚕糸技術の習得や内外の蚕糸情勢などを知 ることができるようになった。本誌は新し い蚕業技術の確立に合せて、その普及に非 常に役立ってきたが、平成時代に入ると購 読者である農家の著しい減少と全養連の全 国農業協同組合連合会(略称:全農)への 合併によって2000(平成12)年発行の第 53巻第4号(写真2参照)をもって休刊 となった。全養連は雑誌「蚕糸の光」のほ かに、分かりやすい養蚕技術書「図解養蚕

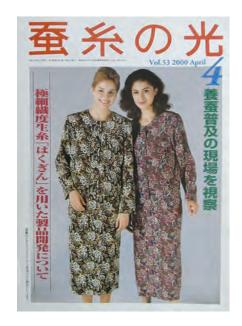


写真2 第2代目最終号表紙

読本」(水上恵成編集、昭和 42 年)、「蚕桑病害虫事典」(全国養蚕農業協同組合連合会蚕糸の光編集部、昭和 48 年)、「図説実用養蚕読本」(編集部、昭和 51 年)、「新図解養蚕読本」(全国養蚕農業協同組合連合会指導情報部蚕糸の光、昭和 57 年)、月刊誌「蚕糸科学と技術」等を発行し養蚕技術の向上に努めてきた。

全養連は2000(平成12)年4月1日 に全農に吸収合併されたので、全養連の看 板は52年余で消えてしまった。

全農組織に入ってからの養蚕事業は、農産部に新設された養蚕対策室で継続実施されたが、2008(平成20)年1月に養蚕対策室は廃止になり、養蚕事業は翌2月から園芸農産部特産販売課(平成22年2月、直販課に改名)内に移され継続された。しかし、全農での養蚕事業は2012(平成24)年3月をもってすべて中止し、養蚕活動の幕を下ろした。

## 九州大学におけるカイコの系統保存のねらいと役割について

# 九州大学 家蚕遺伝子資源学分野 教授 伴野 豊

#### 1. はじめに

九州大学は実験用のカイコの種類として は世界で最も多数の800種類程のカイコを 保有している。500種類が50年から100 年近くの長きにわたり維持しているコアリ ソースであり、300種程はそのコアリソー スから特別の用途の為に育成したリソース、 遺伝子組換え技術、あるいはゲノム編集に よって作成されたものである。本学では、 カイコはすべて桑の葉で飼育をしており、 校内に 2.6ha の桑園を設けて維持管理を行 なっている。何故、九州大学で多数のカイ コ系統が保有されることになったかと言え ば、大学のある福岡は桑の葉が4月末から 12月上旬まで収穫でき、系統維持を始めた 初代教授の田中義麿博士がその利点を活用 し、その方針を1世紀にわたり歴代の教職 員が継承しているためである。大学ではカ イコの遺伝子突然変異体を中心に特色を持 ったカイコを収集している。遺伝子突然変 異体は、平易に述べれば、珍しい特徴を持 ったカイコである。色や形、行動などに普 通のカイコと変わった珍しい特徴が見られ た時、それが一過的な現象でなく、遺伝的 な変異であるかを確認するには、子供や孫 世代に珍しい形質が伝わるか否かを検討する必要がある。早く結果を出す上で暖地にある九州大学は有利であったのである。ちなみに田中義麿博士は学生時代(現在の北海道大学:札幌市)からカイコの研究を行っていたが、札幌での飼育は春夏の2回であった。一方、転勤した1923年以降は九大で年間に5回も飼育を行うことができたのである。沖縄への出張飼育も行い、年6世代を行なったことも記録に残っている。

### 2. 遺伝子突然変異体を用いた遺伝子地図 作成

通常、カイコの幼虫は白色で、繭も白色をイメージするであろう。しかし、幼虫期の皮膚が黒色のカイコや、黒い縞模様を持つ種類、レモン色の皮膚を持つカイコもいる。また、繭色もオレンジ色、ピンク色、濃い黄色など多様である。ところで、何故珍しいカイコを保存してきたのであろうか?それは図1に示したカイコの遺伝子地図の作成に必須であったためである。現在では、遺伝子地図というと、DNAの塩基配列を想像する方が大半であろう。しかし、遺伝学が誕生し、発展した20世紀は、マ

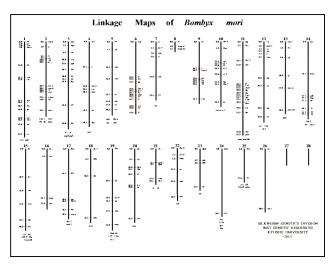


図1 カイコの遺伝子地図:形質遺伝子地図、リンケージマップとも呼ばれる。

ウス、ショウジョウバエ等と同様に遺伝子 地図は突然変異体同士を交配し、その遺伝 分離(3点実験)の結果を基に作成されて きた。遺伝子突然変異体は遺伝地図作成に 必須であり、その材料の維持や交配実験の ために九州大学はカイコの遺伝子変異体の 収集を行なってきたのである。

## 3. 養蚕業の発展がもたらした多様なカイコ 突然変異体

九州大学で保存しているカイコに関しては、500種類のコアリソースについてはナショナルバイオリソースプロジェクトのホームページで公開をしている(http://silkworm.nbrp.jp)。また、最近刊行されたカイコの実験単(図2)には、九州大学で保存しているカイコ系統を用いた実験やカイコの飼育方法が記載されている。ここではその中から、いくつかの変異体を紹介しよう。かすり、流流を、虎蚕、黄浮黄体色、白卵、黄繭など古風な名前のものも多い(図3)。「かすり」は幼虫期の皮膚にかすり模



http://silkworm.nbrp.jp/

図2 カイコの実験単:2019年に日本蚕糸学会会員を中心に執筆されたカイコの実験書。右側は NBRP カイコの HP で、実験単で紹介している実験に適したカイコ系統を選べるよう工夫されている。

様に似た黒い斑紋があることに由来する。「かすり」は日本の在来種(古くから特定の地域で飼育されてきた系統を指す)に多く見られた。牧歌的で科学的には縁遠い名が冠されているが、突然変異という遺伝用語が無い時代から人々の間で認識されていたためである。油蚕は、今では馴染みの薄い油紙に由来し、幼虫皮膚が透明(完全に透明ではなく白色が薄い)、虎蚕は、トラ

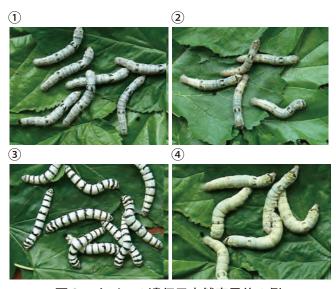


図3 カイコの遺伝子突然変異体の例 あぶらこ とらこ きうきおうたいしょく ①かすり、②油蚕、③虎蚕、④黄浮黄体色。

模様に似た皮膚の斑紋を持つことから名付 けられている。黄浮黄体色は、皮膚が黄色 であるためである。白卵は、卵の色が白い ことに由来し、黄色繭は白繭に対する変異 体として認識されていた。こうした多様な カイコは、1900年の『メンデル法則の再 発見』以降に盛んになった遺伝学の進展に 格好な実験材料となった。東京大学の外山 亀太郎はこれらのカイコを用いて動物に おいてもメンデルの遺伝法則が成り立つこ とを世界に先駆けて証明した(1906年)。 1900年のメンデルの再発見当時、同法則 は植物では成り立つものの、動物では疑問 視する向きもあった。メンデルはエンドウ 豆を用いていたし、チェルマック、ド・フ リース、コレンスらもいずれも植物を材料 にしていたのである。遺伝学の発達する 20世紀初めの日本にその材料となる遺伝 子突然変異体が多数存在したことは日本の 長い養蚕の歴史、風土と結びついたものと 言えよう。九州大学で田中義麿に始まった 系統保存は、筑紫春生、土井良宏の各教授 を中心に引継がれ今日に至っている。

#### 4. 繭型の変異

多くの方は、カイコの繭は白色で、楕円型か俵型を思い浮かべるであろうが、実は多様である(図 4)。最も下にある大きな繭は保存系統名 b20 の琉球綿蚕である。九大が入手した年は 1913 年で収集先は東京蚕業講習所である。この繭は 1 頭のカイコが作るのではなく、数頭が共同で一つの巨大繭を作り上げる。写真のものは 7~8 頭



図4 カイコの繭型の多型:形や大きさ、色が様々である。人工的に作ったのでは無く、すべて自然にカイコが作ったもの。

であるが、これまでの本学での最高では24 頭が共同で作った例がある。長さは30セ ンチと長大であったが、繭幅は2センチで 通常のものと同様であった。写真の右上の 稍くすんだ黄色の繭は三角形をしている。 この繭も複数のカイコが共同で1つの繭を 作る。系統名は b22 で来歴を辿ると 1965 年に群是製糸研究所から入手した大如来に 由来する。この2種類の大型繭は同功繭の 著しいものである。通常の養蚕用品種でも 一定数の同功繭は分離し、繰糸には不適と して選別除去され真綿とされるが、琉球綿 蚕や大如来はもっぱら真綿用の品種として 扱われていたとされる。日本の養蚕書の 最も古いものとして知られる 1702 年に著 された「蚕飼養法記」に、当時の繭の種 類には「土繭」と「きんこ繭」があったと 記されている。土繭は綿蚕とも呼ばれ、質 が悪く真綿にしかならない。一方の「きん こ繭」は、絹子に通じる。すなわち生糸を へて高級な絹織物になるとされる。写真の b20 は収集した田中義麿は当初は「綿」と 野帳に記している。一方の b22 は入手年代 が 1965 年で新しいことから確信はできな いが恐らく、繭形、色からして石渡繁胤が 蚕事報告 15号 (1889) で扱っている青森 県産大如来種ではないかと思われる。同報 告書には琉球同功繭種が記載されているが b20 に酷似している。蚕事報告は東京蚕業 講習所の報告書である。前述したように田 中は 1913 年に東京蚕業講習所から入手し ているので、b20 は石渡繁胤が実験に用い た系統と見て差し支えないであろう。

#### 5. 系統保存と戦争

カイコの系統や品種(品種は養蚕用に実 際に流通しているものに付され、系統は実 験用や品種の育成段階に用いられる)は卵 で長期保存する。しかし、1年しか保存が できないのでカイコの保存は大変である。 今年は使わないが来年あるいは何年か先に は使えるかも知れない。そんな場合でも、 とにかく毎年継代のための飼育が必要とな る。九州大学のある福岡市は昭和20年6 月に大空襲があり、当時の主務であった筑 紫春生先生は運を天に任せるばかりであっ たという。農研機構の前進である農林省蚕 糸試験場(東京・高円寺)は疎開ならず疎 蚕をして保存したと言う。「土繭」と称さ れていた日本古来の系統は戦争によって失 われたのではないが、日本が近代化するた めに繰糸には不適とされ、明治政府が禁じ た品種統制によって多くは絶滅してしまっ た。しかし、数種が研究用に残され何とか 奇跡的に生き延びてきたのである。現代は ゲノム編集技術の時代で、ピンポイントで 遺伝子を改変できる時代となっている。し かし、写真のような多様な繭を見る時、果 たしてこれだけユニークなものを作り出す ことができるのだろうか? 保有する多様 なカイコの性質を活かすことで足るのでは と思ったりする。カイコは桑しか食べない。 しかし、保有する多数のカイコ系統や品種 にキャベツを食べさせたら、既存のカイコ の中に食すものがいて、何とリンゴまで食 すことがわかり、人工飼料適合品種が開発 された。ふと、過去の成果が思い浮かぶ。

#### 6. おわりに

#### ―潜在する遺伝変異の活用―

九州大学には主として肉眼で観察でき る突然変異体を約1世紀にわたって世界中 から収集してきた。しかし、食性の遺伝子 からもわかるように可視的には見ることが できない形質について探索(スクリーニン グ) すると潜在的な変異があり、それを活 用すると新たな可能性が開けてくる。九州 大学の昆虫ゲノム科学分野では、日下部教 授を中心に昆虫工場に適したカイコ系統を スクリーニングし、昆虫工場に適した系統 を発見し、活用している。[この場合、昆 虫工場とはカイコの体内で感染するウイル ス内に目的の外来遺伝子を組み込み、カイ コ体内で有用なタンパク質を生産させるこ とで、1頭のカイコを生産工場に例えたも の。〕系統保存にとって病気発生は危険で あり、微生物との相互作用などはこれまで

スクリーニングされていない。しかし、セラチア菌、糸状菌などに体する抵抗性は系統間で違いがありそうなことを経験している。飼育しているカイコ系統は分譲できるので新たな評価を行ってくれるパートナーは大歓迎である(病理でなくともターゲットとする遺伝子、形質のスクリーニングにも活用いただければ、資源の有効利用に繋がりますのでお気軽にお声がけくだされば幸いです)。

日本では20世紀の戦火でも多様なカイコ系統を失うこと無く、また昭和50年以降の急激な蚕糸業衰退の中でも何とか維持し今日に至っている。シルクロードにより世界に広まったカイコは欧州種、熱帯種(南方種)日本種、中国種、朝鮮種など、民族

や風土によるセレクションを経て分化し固有な地域型品種を生み出した。日本は蚕糸業を発達させるために国をあげてそれらを収集した。現在ではその系統や品種が生み出された地域には保存されていない。日本とカイコの関係についても認識していただければと願うところである。

#### ■問い合わせ先:

九州大学大学院農学研究院 遺伝子資源開発センター 家蚕遺伝子開発分野 〒 819-0395 福岡市西区元岡 744 TEL: 092-802-4820 http://www.shigen.nig.ac.jp/ silkwormbase/index.jsp

## 片倉の名品種「太平×長安」の復活と洋装服地開発

## 一般財団法人大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 育種チーム

主任研究員 常山 泉

#### 1. はじめに

皆様は、「太平×長安」という名をご存知でしょうか?

これは、太平洋戦争中に後の片倉工業株式会社(以下、「片倉」という。)がパラシュート製作という特殊用途を目的に開発した蚕の品種名です。今回は、この蚕を現代に復活させ、新たに洋装服地の開発に活用された話を紹介します。

#### 2. 高級生糸生産のために

片倉の歴史は古く、明治6年、片倉市助が明治政府の蚕糸振興の方針に従い、長野県諏訪郡川岸村(現在の岡谷市川岸三沢)の地で座繰り製糸を開始したことが、その始まりとされています。

今年で創業 146 年を迎える老舗企業ですが、創業以来、シルク輸出の花形企業として外貨獲得に貢献した片倉は、製糸工場の増設と共に、蚕種製造所、蚕業試験場、栽桑試験場、絹糸加工研究所などの関連施設を次々に設立し、その事業を拡大していきました(図 1)。

そして、昭和15年には、国内外に62の製糸工場を有する日本で最大の繊維会社



図 1. 輸出生糸の梱包風景(昭和 15 年頃) 提供:片倉工業(株)

となり、「片倉王国」とも言われるようになったのです(図  $2 \sim 4$ )。

全盛時代において、片倉の研究課題の中心が、高級生糸生産のための繰糸機の開発や製糸法の改良であったことは言うまでもありませんが、これに加えて、糸の原料となる"繭の品質の向上と安定"を目的とした蚕の品種改良にも心血が注がれていました。そして、遺伝学の雑種強勢(一代交雑)を利用した「豊白×満月」、「豊黄×瑞祥」、「分離白1号×満月」、「栄光×満月」などの優れた蚕品種が生み出されました。

蚕品種の利用状況について、農林水産省

の統計資料を見ると、昭和22年の片倉系 品種の利用率が全国の88.8%を占めるこ とから、当時の片倉の育種技術のレベルの 高さが見て取れます。

#### 3. 時代に求められた蚕品種

戦時中に開発が行われた「太平×長安」 は、片倉の蚕品種のなかでも特殊な蚕と言 えます。それは、その目的が『高速化する 航空機の搭乗員の生命を守るパラシュート の製作に使用する品種の育成』であったか らです(図5)。

「太平×長安」の開発は、当時の片倉の 蚕業試験場(戦時下では蚕糸業統制法の施 行により、日本蚕糸製造株式会社・蚕業試 験場) の所長であった小針喜三郎博士を中 心に進められました。そして、昭和18年 の9月には、優れた品種の開発に成功した 小針所長らが三代目社長の片倉兼太郎氏か ら表彰されていることが、片倉の青木俊一 氏による社内資料の調査によって明らかに されています。太平洋戦争のさなかに軍部 の喫緊の要請を受け、片倉が育種技術の粋 を集めて開発した「太平×長安」でしたが、 航空生糸生産品種としての有力な候補(第 二候補)には挙がったものの、戦局の悪化 に伴い、第一候補の「支21号×支108 号(航空1号)」と共に、実戦で使われる ことはありませんでした。

パラシュート用に育成されただけに、「太 平×長安」の糸は強く、細く、長く、また、 解じょや小節点が優れているという特徴が ありました。これに加えて、当時の品種と



図 2. 富岡製糸所全景 (昭和 15 年頃) 提供:片倉工業(株)



図3. 乾繭風景(昭和15年頃) 提供:片倉工業(株)



図 4. 富岡製糸所での繰糸風景 (昭和 18 年頃) 提供:片倉工業(株)



図 5. 太平洋戦争に使用された航空機(実物大模型) 撮影協力:阿見町予科練平和記念館・館長 篠崎慎一氏

しては収穫量(収繭量)も多かったことから、戦後の昭和21年の6月には高級生糸用品種として国から指定され、早くも、昭和24年には春用品種としての利用率が全国の43.2%を占めるほどの主要品種となりました。

農家で収穫された「太平×長安」の繭は、 当時の片倉の主力工場であった富岡製糸所 や松江製糸所などに集められて繰糸され、 その糸は、戦後の復興と共に生糸の輸出量 が順調に回復していく中で、輸出生糸のホ ープとして注目されました(図6)。



図 6. 昭和 22 年、昭和天皇が松江製糸所に行幸された おりに展示された「太平×長安」の繭 提供:片倉工業(株)

昭和30年代の半ばに入ると、日本の経済は高度成長を迎えることになりますが、この時代には蚕糸業を取り巻く環境にも大きな変化がみられるようになってきました。特に、労働賃金の上昇は生糸の生産コストの引き上げに影響し、結果として、国際競争力を失った国産生糸の輸出量は急激に減少していきました。また、その一方で、景気の拡大によって国内生糸需要が著しく増大し、これに対応するために、繭が大きく収穫量の多い新たな品種が求められるようになって、「春嶺×鍾月」や「朝・日×東・海」などの生産性の優れた品種が開発され

てきました。そして、これらの品種のシェアが大半を占めるようになった昭和55年頃には、「太平×長安」の利用率も10%を割るようになり、ついには、一世を風靡した「太平×長安」も実用品種としての役割を終える日を迎え、遺伝資源として保存されることになりました。

#### 4. 昔の名品種をもとめて

平成の世になると、昭和末期から続いた 日本のバブル経済にも陰りが見え始め、企 業活動の縮小や倒産などに関する報道が紙 面をにぎわせるようになってきました。こ の日本経済の景気後退の波は蚕糸業にも強 く影響し、各地で製糸工場の閉鎖や養蚕農 家の減少が続き、時には『蚕は絶滅危惧種 である』と揶揄されるほど蚕糸業の衰退が 感じられるようになりました。

農林水産省と大日本蚕糸会は、この状況 に歯止めをかけるための策として、平成 20年より、"希少な国産繭および生糸の特 徴を活かした純国産絹製品づくりの推奨" と"絹文化振興支援による蚕糸業の再生を 目指した蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業" を実施しました。

大日本蚕糸会・蚕業技術研究所の育種チームでは、この事業を支援する為の役割の中で、糸長、繊度、色などの糸質に特徴を持った新たな蚕品種の開発と共に、「昔の着物はよかった」、「昔の糸は空気を含んでいた」という消費者や業界の声を受け止め、昔の品種の復活に着手することにしました。それは、過去に名品種といわれたものを

リストアップして、それらの品種の特徴と開発された目的を調べる作業から始まりました。そして、候補に挙がった品種については飼育試験を実施すると共に、その糸については織物作家の筋誠珠実氏(繭の芽studio)のご協力によって、手触りによる感性(風合い)評価も行ってみることにしました。しかしながら、いずれの品種も飼育の容易さや糸の風合いに難点があり、なかなか復活に値する様な品種を見出すことはできませんでした。

#### 5. 蚕品種「太平×長安」の復活

そんな折の平成23年、片倉の内部組織の再編成に伴って、"富岡製糸所ブランド"の「太平×長安」の原種が、種々の片倉系実用品種の原種と共に蚕業技術研究所に譲渡されることになったのです。これは、私たちにとってまさに"渡りに船"でありました。あの「太平×長安」ということで、その原種はどんな性質なのか興味と期待に胸を膨らませて、その年の春蚕期に原種の飼育試験を行ってみることにしました。

ところが、期待に反して、孵化が悪い、 人工飼料を好まない、発育が揃わない、病 気に弱い、繭形が不揃いであるなど、多く の欠点が目に付きました。特に驚いたのは、 蛾の交尾能力に著しい低下が認められ、メ ス蛾とオス蛾をそれぞれ手で持って人為的 に交尾させる、いわゆるハンドペアリング でなければ交尾できない蛾が大多数であっ たことです。

このような問題の多い蚕を扱うのは初め

ての経験であり、継代とその後の品種維持 に必要な最低限の採種量の確保も難しかっ たため、同年の晩秋蚕期に再度、「太平× 長安」の原種の分譲を片倉に依頼して、飼 育試験を実施することにしました。

名品種と言われた「太平×長安」の原種にこれらの問題点が生じた背景については、国産シルクの需要の低迷が長期にわたって続いていることにあると言えます。蚕糸関係部門の縮小や事業転換の推進を余儀なくされた片倉では、新規領域での蚕の利用、すなわち、臨床診断薬等の原料の生産に利用できる特殊な蚕の維持管理が優先され、従来の糸繭の生産に利用する蚕については、あまり手を掛けられない状況が心ならずも続いていたのでしょう。

そこでまず、譲り受けた原種の生命力を 回復させることを目標とし、平成24年春 蚕期より、蛾区展開と個体選抜を繰り返し 実施しました。これは数多くの母蛾が生ん だ卵を孵化させて飼育し、その中から丈夫 な個体を根気よく選び出す作業を繰り返 す、とてもシンプルでオーソドックスな育 種法ですが、これが功を奏して、今では、 譲渡された直後にみられた大方の問題点は 著しく改善されました。

今回の育種によって性状が改善された原種同士を交配して作出した「太平×長安」の特徴を、平成30年に実施した飼育試験のデータに基づいて紹介しますと、現行の普通繊度系品種「朝・日×東・海」と比べて小形でやや軽い繭ですが、その糸は細く、1,400m程度の長さとなることから、

細繊度系で長糸長の品種であると言えるでしょう。また、糸の解じょや、小節点、強度についての成績も良好であり、実用品種としての復活を目指して育成を進めてきた「太平×長安」は、当初の目標を達成した満足のいく品種となりました(図7)。



図 7. 復活した「太平×長安」の繭と生糸

#### 6. 洋装服地への実用化

「太平×長安」の糸を使った洋装服地の 開発は、テキスタイルデザイナーの平川嘉 一氏によって進められました。"純国産繭 のフォーマル研究会"を立ち上げ、洋装分 野において、『特徴ある番品種を用いた物 語性のある良いモノづくり』を目指してい た平川氏は、「太平×長安」の持つ"富岡 製糸所ブランド"と"パラシュート生糸用 として開発された"という来歴に着目し、 試織試験を繰返し実施されました。その結 果、「太平×長安」の糸は、期待にたがわ ず、丈夫な糸であると判断され、また、試 織した機屋からの織りやすさに対する評価 も高かったことから、この糸でサッカー(し じら織り) 服地を試作して、これを用いた 紳士用の夏物シルクジャケット作製の企画



図 8. イタリアのブランド『ミラ・ショーン』による 「太平×長安」のシルクサッカージャケット 撮影協力:トレンザ(株)

をデパートに提案しました。

そして、幸いにもこの企画が採用され、 ジャケットの販売が決定されました。

平成28年は日本橋三越本店と伊勢丹新宿店の両店で、また、平成30年と令和元年には日本橋三越本店にて、高級アパレルブランドが作製したジャケットが数量限定で販売されました(図8)。

なお、今回作製した「太平×長安」のシルクサッカージャケットは、「他の日本製の同タイプのジャケットの2倍以上の価格でも、ハリがあって見栄えがするため、人気の高い商品である」との評価を、デパートのアパレル販売担当者から頂いています。

#### 7. おわりに

昨年、農林水産省が主催する『シルク・サミット 2018~「明治 150 年」記念シンポジウム~』が東京で開催されました。基調講演をされた片倉工業株式会社代表取締役会長(当時、社長)の佐野公哉氏は、"檀上で「太平×長安」のシルクサッカージャケットに着替える"という聴衆の心を引きつけるパフォーマンスにより、この蚕品種の復活を強くアピールされました。この様な佐野会長の暖かいお心遣いとご支援には、蚕品種の復活に努めてきた者として感謝の念に堪えません。

かつて片倉が所有していた「富岡製糸 所」は、昭和62年の2月まで操業されて おり、私が片倉に入社した時代は、幸運に も稼働中の「富岡製糸所(当時、富岡工場)」で研修を受ける機会を得ることが出来ました。その後、蚕とは無縁の植物の組織培養研究室に勤務することになりましたが、四半世紀を越える時を経て、"富岡製糸所で繰糸されていた"という歴史的にも貴重な片倉の名品種「太平×長安」と巡り合い、現在に至ることに対して、不思議な縁と責任の重さを感じています。

#### 参考文献:

- 1. 株式会社設立 70 周年記念写真帳 "ニューカタクラ の創造"(片倉工業株式会社)
- 2. 片倉製糸紡績株式会社二十年誌(片倉製糸紡績株式会社)
- 3. 日本蚕品種実用系譜(平塚英吉)
- 4. カイコの品種育成(田島弥太郎)
- 5. 我輩は蚕である(田島弥太郎)
- 6. シルク岡谷製糸業の歴史(岡谷蚕糸博物館)
- 7. 歴史群像シリーズ 80 号 日本天才列伝 〜科学立国 日本の立役者〜(学研)

## 蚕糸・絹業団体情報

## 西陣織会館の近年の取り組み

#### 西陣織会館

館長大槻ゆづる

#### <はじめに>

西陣は2017年11月、「西陣」という呼称ができて550年という大きな節目を迎えました。これを機に西陣織会館は1~3階の観光施設を大リニューアル。テナント・取扱商品の見直しも含め2年がかりの大改革となりました。当館には毎年20万人余の観光客が訪れ、その8割前後は外国人で、中国、台湾、ベトナム・インドなどアジア系の方が多く、また、国内では春秋の修学旅行で年間約9,000人の小中学生が手織体験に訪れます。

#### くきものショー>

リニューアルのトップバッターはきものショー。全国唯一の常設ショーとして人気を集めている当館のきものショーは、3階の本格的ステージとホールを大改修し、1階から移設しました。ステージに設置のサイネージでは、ショーで着用の着物と帯の種類・産地をあらたに表示しました。

また、クリスマスや成人式、ハロウィンなど「ハレの日」には、"Shall We きものショー?"と銘打ち、一般市民の皆さまが参加できる「きものショー」を公募開催。男女年齢問わず多くの市民にご参加いただき、あらたな着物ファンの発掘につとめています。

## <TIE VILLAGE>

2005年に始まったクールビズ運動の浸透により、ネクタイ市場の落込みが顕著となっています。ノーネクタイの期間が、運動当初は4か月でしたが、東日本大震災以降のスーパークールビズでは半年にも及んでおり、今やネクタイを締めないのがファッションとまでに変化し、その結果、廃業せざるを得ない組合員も出ています。そこで、もう一度ネクタイを復活させようと試みたのが、昨年9月オープンの<TIE VILLAGE>の新設です。

この大きな特徴は、西陣織だけでなく、 山梨、八王子をはじめ全国産地の有力メーカーにも参加いただいたことで、常時 1,200 本の創作ネクタイを展示紹介しています。



TIE VILLAGE

ネクタイ素材の新たな活用として、ベスト・ジレやバッグ、メンズ小物など、新たなメンズファッションの拠点としての充実を図っています。

#### <絹織工房>

2階にあった純国産絹織工房は1階へ移設し、体験工房とセットでの絹織工房として見学できるようにし、(公財)群馬県蚕糸振興協会「日本絹の里」との友好姉妹会館の縁から蚕種を提供いただき、見学者向けの蚕の飼育・座繰り実演等を行っています。西陣織会館周辺に植栽した桑の葉を餌にし、冬場は人工飼料を使用、蚕が繭をつくる際の蔟は紋紙を利用するなど、西陣ならではの工房であります。

京都での座繰り実演は珍しく、毎年、地域の子どもまつりにも出店参加し、子どもたちの人気を集めています。また、生きた蚕は親子の学習会でも、人気の的となっています。

#### <結びに>

モノ消費からコト消費、体験型消費への変化が進むなか、モバイル決済の拡充、全自動両替機の設置導入、糸棚と手機によるインスタスポットの整備、Wi-Fi環境の改善など来館者の利便性向上を図るととともに、広報活動の強化に取り組んでまいりま

した。SNS とホームページの連動は3年目にしてようやく目に見えた効果が出てきました。

会館のフェイスブックのフォロワーは現在 1,500 人ですが、この 8 月開催の『五山送り火鑑賞会』の「いいね!」は、5,800 で、6 月末には満員御礼のご案内を出したしだいです。もちろん、組合事業の広報ではまだまだ成果が見られないものものも少なくなく、さらに努力を重ねてまいりたいと肝に銘じています。

今後、東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ、大阪万博など世界的なビッグイベントが相次いで開催されるなか、文化交流コンベンション都市としての京都の役割を、その一員としてしっかりと担っていく所存です。



インスタスポット(糸棚と手機)

## イベント情報

#### ●ジャパンシルクセンター

#### 「シルクと私。有楽町で逢いましょう!第2弾」

東京多摩地域にわずかに残る東京産シルクの紹介とそれを支えるモノ作り集団が中心となって、繭や糸などの素材から、各々工夫を凝らした作品を実演やワークショップ等を通して体験、展示販売します。

〈会期〉10月3日(木)13:00~18:00

10月4日(金)~5日(土)10:00~18:00

10月6日(日)10:00~16:00

〈主催〉東京シルクの会・多摩シルクライフ 21 研究会

**〈会場〉**ジャパンシルクセンター 〒100-0006 千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 1 階

Tel: 03-3215-1212

#### ●ジャパンシルクセンター

#### 純国産生糸振興・碓氷製糸提携グループ・西陣織物作品展

日本人の「きもの」、日本の絹で作りたい、国産絹への強い想いをもっての開催です。 同時に西陣織の職人の「美と技」をご覧ください。

〈会期〉10月25日(金)~28日(月)10:00~19:00(最終日は16:00迄)

(主催) 碓氷製糸提携グループ

**〈会場〉**ジャパンシルクセンター 〒100-0006 千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 1 階

Tel: 03-3215-1212

## ● (一財) 伝統的工芸品産業振興協会 第 36 回伝統的工芸品月間国民会議全国大会 2019 伝統工芸ふれあい広場・岩手

-想いをつなぎ、技を伝える。- 全国から日本の伝統技術が大集合! 受け継がれる匠の技をぜひご覧ください。伝統工芸ふれあい広場では、職人の手ほどきによる制作体験や精巧な技を直接見ることのできる製作実演の他、あらゆる角度から伝統的工芸品の魅力を紹介します。生きたカイコの展示、座繰り体験もできます。

〈会期〉11月3日(日)~5日(火)10:00~17:00(最終日は16:00迄) http://kougei-expo.com

〈主催〉伝統的工芸品月間推進会議・(一財)伝統的工芸品産業振興協会 日本伝統工芸士会・岩手県伝統的工芸品月間推進協議会

**〈会場〉**岩手県産業文化センター アピオ 〒020-0605 岩手県滝沢市砂込 389-20

Tel: 019-688-2000

#### ●シルク博物館 【秋の特別展】開館 60 周年記念「横浜・生糸」ものがたり || 「白き糸の調べ -かながわの製糸・撚糸-」

横浜の生糸輸出を支えた産業(養蚕、製糸・撚糸、貿易)の歴史を紹介する「横浜・ 生糸」ものがたりシリーズ第二弾です。今回は、神奈川県の「製糸・撚糸」を取りあげ ます。

神奈川県では、養蚕地帯と生糸貿易の中心地横浜が隣接していたため、明治20年代以 降、各地に器械製糸工場が設立されました。本展では養蚕農家の庭先でおこなっていた 座繰りに始まり、組合製糸の先駆けとなった「漸進社」や長野を本拠地とする「純水館 茅ヶ崎製糸所」など大規模工場に加えて、個人経営の製糸工場に関する資料を展示しま す。また、製糸した糸に撚りをかける撚糸業で栄えた半原についても紹介します。 \*2019年10月1日より入館料の改訂があります。

#### 《会期中のイベント》

- ◆一錘式八丁式撚糸機の実演
- ◆学芸員によるギャラリートーク 10/19 (土)、11/2 (土)、16 (土) 各日とも 13:30~

〈会期〉10月12日(土)~11月17日(日)9:30~17:00(入館は16:30迄)

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、12/28~1/4

\*その他臨時休館がありますので、シルク博物館 HP にてご確認下さい。

〈主催〉シルク博物館

**〈会場〉**シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地

Tel: 045-641-0841

#### ●シルク博物館

#### チャレンジ!かいこプログラム「たのしいかいこの発表会」

かいこの観察記録やまゆ人形など、子どもたちの作品を展示します。

〈会期〉11月30日(土)~1月13日(月・祝)9:30~17:00(入館は16:30まで)

#### シルキーウィンターフェスティバル ーシルキークリスマスー

シルクスカーフを用いたファッションショーやクラシックコンサートを開催します。

**〈開催日時〉**12 月 15 日 (日)14:00~14:25 シルクスカーフを用いたファッションショー (関東学院大学)

14:40~15:40 クラシック・ヨコハマ 2019

ミュージアムコンサート

(横浜市民広間演奏会)

※12/15(日)は終日無料開放日です。

〈会場〉シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地

Tel:045-641-0841

#### ●駒ヶ根シルクミュージアム 第 52 回特別展 「第 12 回 現代手織物クラフト公募展」

全国で独自の創作活動をしている織物のプロ、および将来プロを目指す方たちが創作した、独創的で優れた織物作品を展覧し、広く織物愛好家に向けて紹介するとともに、自立の道を拓く支援の場となることを目的に開催します。

〈会期〉10月17日(木)~11月24日(日)9:00~17:00

〈主催〉現代手織物クラフト公募展 実行委員会

現代手織物クラフト公募展 実行委員会事務局 https://komagane-silk.com/ 〒399-4321 長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地

駒ヶ根シルクミュージアム内

Tel: 0265-82-8381

E-mail: shiruku@cek.ne.jp

#### ●岡谷蚕糸博物館 企画展「草木染 山崎 斌・青樹・和樹 三代の軌跡」

草木は豊かな色を密かに宿している。その色を引き出して染める「草木染」という 言葉を山崎斌は使い始めました。春・夏・秋・冬、自然が作り出す色彩に感謝しながら、 山崎家三代が連綿と染め続けてきた草木染の魅力をご堪能ください。

**〈会期〉** 2019 年 10 月 3 日 (木) ~2020 年 1 月 19 日 (日) 9:00~17:00

休館日:水曜日・祝日の翌日、12/27~1/3 その他臨時休館あり

〈主催〉 岡谷蚕糸博物館 ―シルクファクトおかや―

**〈会場〉** 岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel: 0266-23-3489

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

### ●日本絹の里 第44回企画展「ちりめん創作人形展~絹彩ワンダーランド~」

ちりめんや古ぎれを使用し、日常の風景をテーマにした人形を制作している高崎市在 住の人形作家・竹本京さんの新作を中心に紹介します。色鮮やかな「絹」を使用した、 伝統的な日本の四季や人形達がおりなす楽しいおとぎの世界をどうぞお楽しみ下さい。

〈会期〉 9月5日 (木) ~11月4日 (月・祝) 9:30~17:00

休館日:毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、12/27~1/5 \*1/3 臨時開館

〈主催〉群馬県立日本絹の里

〈会場〉群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

#### ●日本絹の里 第89回特別展「岡田教子 伝統の絣・未来へ繋ぐ」

日本の伝統的な手括り絣の技法に自身の機織り技術を融合した新しい染織の世界を 作り上げる岡田教子さんの作品を中心に紹介します。

〈会期〉11月9日(土)~12月16日(月)9:30~17:00

休館日:毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、12/27~1/5 \*1/3 臨時開館

〈主催〉群馬県立日本絹の里

〈会場〉群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

#### ●日本絹の里 第90回特別展

#### 「富岡製糸場と絹産業遺産群」 世界遺産登録5周年記念展示

2014年に「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録されてから5周年を迎 えたことを記念し、4つの構成資産について解説します。特に構成資産で働いた人たち にスポットを当て、当時の日常生活などを紹介します。

〈会期〉2019年12月21日(土)~2020年2月3日(月)9:30~17:00

休館日:毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、12/27~1/5 \*1/3 臨時開館

〈主催〉群馬県立日本絹の里

〈会場〉群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

## 2019 年度第2次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの2019年度第2次審査委員会を2019年8月28日(水)に開催しました。 今回の申請は6者で、新規2者5品目、使用許諾されている4者のうち製品の追加2者2品 目、履歴の追加2者2品目、数量の追加1者2品目の申請がありました。これらの申請を審 査委員会で審査した結果、6者11品目に対し、9月4日(水)付けで純国産絹マークを使 用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(表が真性有名) (新規) ウライ(株) 代表者名:森田亮 (担当者:相原裕介) 〒 600-8491 京都市下京区室町通綾小路上る鶏鉾町	後染反物(小紋)	15 反	番品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA 上伊那管内養蚕農家 製 糸 (株) 宮坂製糸所
498番地 TEL: 075-361-0330 表示者登録番号 232	後染帯地(袋帯 (表地のみ))	15 本	製織織田工房 染色(株)雅染匠
(新規) 大橋メリヤス 代表者名:大橋弘 (担当者:大橋弘) 〒 376-0013 群馬県桐生市広沢町 2-3300-2	ニットストール (市松柄)	200 枚	
TEL: 0277-54-1406 表示者登録番号 233	ニットストール (杉柄)	200 枚	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA 北群渋川管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 染 色 小池染色(有) 製 編 自社
	ニットストール (繭玉花びら)	200 枚	

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(株) 丸万中尾 代表者名:中尾浩祥 (担当者:中尾浩祥) 〒 526-0835 滋賀県長浜市室町 180番地 TEL: 0749-62-1660 表示者登録番号 028	(製品の追加) 後染反物(訪問着、 留袖、色留袖)	30 反	蚕品種 新小石丸 繭生産 小林正文・河原田昭一 製 糸 碓氷製糸 (株) 製 織 南久ちりめん (株) 染 色 (株) 矢代仁
	(履歴の追加) 白生地(表地 (色無地、黒喪服、 訪問着、色留)	30 反	蚕品種 小石丸・新小石丸 繭生産 柳沢敏明・有坂啓重・萩原武志 製 糸 碓氷製糸 (株) 製 織 南久ちりめん (株) 販 売 (株) 髙島屋
(製品の追加) 窪田織物 (株) 代表者名:窪田茂 (担当者:大迫孝一) 〒 891-0115 鹿児島県鹿児島市東開町 13-12 TEL: 099-208-5855 表示者登録番号 213	先染反物 (本場大島紬 12 マルキ)	90 反	制作・企画 自社 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 富岡シルクブランド協議会 製 糸 碓氷製糸 (株) 製 織 自社
(履歴の追加) (株)京朋 代表者名:柳修司 (担当者:柳修司) 〒 604-8163 京都市中京区室町通六角下る鯉山町 505 TEL:075 - 222-1211 表示者登録番号 230	白生地 (表地(紋意匠し ののめ))	20 反	蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA おやま管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸 (株) 製 織 (株) アショネ 精 練 丹後織物工業組合
(数量の追加) (株) 伊と幸 代表者名:北川幸 (担当者:北川幸) 〒 604-8176 京都市中京区御池通室町東入竜池町 448-2 TEL: 075-211-2361 表示者登録番号 035	白生地 (表地(色無地用 紋意匠))	30 反	蚕品種 松岡姫・上州絹星 繭品産 JA ふくしま未来・JA 前橋市 管内養蚕農家 製 糸 松岡(株)・碓氷製糸(株) 製 織 羽賀織物
	白生地 (表地(色無地・ 喪服用無地意匠))	40 反	蚕品種 松岡姫 繭生産 JA ふくしま未来管内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 江口機業 (株)

次回の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。

純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、下記の提出締切日 までに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会 2019年度第3次:2019年11月22日(金) 純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締切日:2019年10月25日(金)

> 一般財団法人 大日本蚕糸会 担当:岡島、廣瀬、小林

〒 100-0006

東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

TEL: 03-3214-3500 FAX: 03-3214-3511

E -mail:岡島:aokajima@silk.or.jp 小林: kobaei@silk.or.jp

廣瀬:hirose\_takato@silk.or.jp

31

## -般財団法人大日本蚕糸会から

## 純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 2019年9月4日 (2019 -第2次) 現在

表示者	A SHE L.		
登録番号	企 業 名	所 在 地	主な絹製品名
001	(株) 千總	京都市中京区	後染反物(振袖、訪問着、付下、色無地、色留袖、黒留 袖、喪服)、胴裏
002	(株)織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染带地
004	(株) 丸上	東京都中央区	後染反物(色無地、小紋、付下、黒紋付)、後染帯地
005	(株) 坂本屋	茨城県土浦市	後染反物(色無地)、胴裏(灰汁浸け加工)
006	(有) 平原	福島県白河市	後染反物(色無地、黒紋付)
007	(株) 信盛堂	東京都清瀬市	後染反物(色無地、黒紋付)
008	(株) きものアイ	新潟県十日町市	後染反物(色無地)
009	(株) 上庵	岩手県北上市	後染反物(色無地、黒紋付)
010	(有) 樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物(色無地、黒紋付)
011	(株)銀座もとじ	東京都中央区	後染反物(作家作品)、後染帯地、先染反物(大島紬、結城紬、御召、作家作品)、先染帯地(織九寸帯、織角帯、作家作品)、白生地、和装小物(帯締、羽織紐)、八掛、胴裏
012	河瀬満織物 (株)	京都市上京区	先染带地
013	(有) 織匠小平	京都市北区	先染带地
015	(株)結華	静岡県清水町	後染反物(色無地、黒紋付)
016	(有) 絹回廊	東京都中央区	後染反物(色無地)
018	(有) 大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物(色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地(表地)
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物(色無地、黒紋付)
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢 (株))	群馬県高崎市	裏地 (胴裏 (ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま200、灰汁浸加工、トルマリン加工)、八掛、比翼地)、長襦袢地、後染反物 (作家作品、紋付地)、白生地 (世紀二一,上州絹星・ぐんま200,新小石丸)、後染帯地 ((冬物・夏物):うるし糸が5%を超えるもの)、寝衣(うぶ着、おくるみ)、和装小物 (袱紗)
022	宮階織物(株)	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物(色無地、訪問着)、先染帯地(袋帯(草木染、 唐織))
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物(有)	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地(袋帯、名古屋帯)、先染反物(御召類)、後染 反物(色無地)、先染帯地(袋帯:金銀糸が5%を超え るもの)
027	(有)織道楽塩野屋	京都府亀岡市	洋装品(マフラー、シャツ、ニット(ウォーマー、腹巻、 手袋、靴下))
028	(株)丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物(江戸小紋、小紋、付下、友禅、色無地、訪問 着、留袖、色留袖)、後染帯地、白生地(表地)

表示者	♪ <b>光</b> 夕	正 大 W	ナーナン 公日 集川 口 友
登録番号	企 業 名 	所 在 地	主な絹製品名 
029	(株) むらかね	青森県八戸市	後染反物(色無地、黒紋付)
030	(株) 髙島屋	大阪市中央区	後染反物 (振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖)、 白生地 (長襦袢地、胴裏)、ニット (靴下)、風呂敷
031	(株)さが美	神奈川県平塚市	後染反物(黒紋付(冬用・夏用)、色無地)
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物(色無地、黒紋付)
033	(有) 特選呉服専門店後藤	青森県むつ市	後染反物(色無地、黒紋付)
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物(色無地、黒紋付、小紋)
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物(色無地、訪問着)、白生地(表地、胴裏、帯地)、白生地(表地(天蚕糸交織))、白生地(帯地(天蚕糸交織))、婦人用ブラックフォーマル地、長襦袢
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物(色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地(表地)
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物(色無地、黒紋付)
038	(株) 桝屋高尾	京都市北区	先染帯地 (袋帯)
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物(色無地、黒紋付)、白生地(表地)
040	(株)越後屋	千葉県市川市	後染反物(色無地、黒紋付)
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物(結城紬)、先染帯地(結城紬)、白生地(結城 紬)
042	染織家柳崇	東京都世田谷区	先染反物、先染带地
043	染織家児玉京子	沖縄県竹富町	先染反物
044	草木染工房山村 山村多榮子	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超える)、 先染服地、ストール
045	手織りよおん 長嶺亨子	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地、ストール
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染带地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房 深石美穂	沖縄県石垣市	先染反物(紋絽、絣)、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染带地
050	山音(株)	京都市中京区	後染反物(色無地(変三越、駒絽))
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染带地
054	有栖川織物(有)	京都市上京区	先染带地
055	太田和 (株)	京都市中京区	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染带地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物(色無地、黒紋付)
058	浅山織物(株)	京都市北区	先染带地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)、白生地 (加賀友禅用)、先染着尺 (加賀友禅用)

表示者	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
登録番号 060	田中種(株)	大阪市中央区	後染反物(小紋(変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、色無地、すかし織着尺)、後染帯地(九寸名古屋帯)、ニット(靴下、ネック&ボディ、ショルダー、アーム、タンクトップ、腹巻、手袋、ピロケース、肌襦袢、ネックウォーマー)、真綿布団、ハーフケット、布団カバー
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物(色無地)、胴裏(パールトーン加工)
062	(株) なごみや	横浜市都筑区	後染反物(色無地、黒紋付)
063	丸池藤井(株)	京都市中京区	後染反物(色無地)、八掛
064	久保商事 (株)	京都市中京区	和装小物(帯揚、半衿)
065	加賀グンゼ(株)	石川県小松市	胴裏
066	千切屋 (株)	京都市中京区	後染反物(訪問着、付下)、後染帯地
067	荒川 (株)	京都市下京区	和装小物(帯締、帯揚)
069	(株) 紅輪	川崎市宮前区	後染反物(色無地)
070	装いの道(株)	東京都千代田区	白生地(帯地、表地)、胴裏(トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま 200、新小石丸)
071	(株) 髙橋屋	岩手県一関市	胴裏 (灰汁浸加工)
072	おお又(株)	大阪市旭区	胴裏 (灰汁浸加工)、ニット (靴下)
073	(株) 天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏(ぐんま 200(灰汁浸加工))、白生地(表地)
074	(株) きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏 (パールトーン加工)
075	(株) とみひろ	山形県山形市	胴裏 (酵素精練)
076	(株) 細安	福井県福井市	胴裏(酵素精練)
077	京和きもの(株)	神奈川県厚木市	胴裏 (酵素精練)
078	(株) まるため	長野県長野市	胴裏 (トルマリン加工、パーリー加工)
079	(株) 小川屋	群馬県前橋市	胴裏(トルマリン加工、灰汁浸加工)
080	(株) エムラ	山口県防府市	胴裏 (酵素精練)
081	(株) 荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏 (酵素精練)
082	(株) 牛島屋	富山県富山市	胴裏(酵素精練)、後染反物(小紋)
083	(株) 谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏(酵素精練)
084	(株) 登美屋	岩手県北上市	胴裏 (パールトーン加工)
085	(株)川平屋	愛知県豊田市	胴裏 (パールトーン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、 紋意匠))
086	丸専第一衣料 (株) (丸専きもの)	新潟県長岡市	胴裏 (パールトーン加工)
087	(株) 大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地(胴裏、比翼地(振袖用))、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール、ネクタイ
089	(株) あきやま	宮崎県綾町	<b>先染反物、洋装品(ショール、マフラー)</b>
090	藤井絞(株)	京都市中京区	後染反物(色無地)

表示者						
登録番号	企業名	所 在 地	主な絹製品名			
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地(表地)			
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地(表地)			
095	(有)カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品(冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケト)、洋装品(スーツ地、ネクタイ、服飾品(スカーストール、シャツ))			
097	(株)平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締(金銀糸が5%を超えるもの)、羽織紐(男物、 女物)			
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物(色無地)			
099	西野 (株)	京都市上京区	帯締、帯締(金銀糸が5%を超えるもの)			
101	(株) 猪井	新潟県長岡市	後染反物(色無地)、後染帯地			
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物(色無地)、後染帯地			
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物(色無地)			
104	(有) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物(色無地)			
105	(株) 山正山﨑	愛知県豊橋市	後染反物(色無地、小紋(変一越、紋意匠))			
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物(色無地)			
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物(色無地、小紋(変一越、紋意匠))			
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物 (色無地、付下)			
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物(色無地)			
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物(色無地)			
111	(株) 世きね	東京都中央区	後染反物			
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地(袋帯(金銀糸が5%を超えるもの)、九寸帯(金銀糸が5%を超えるもの)、絽九寸帯(金銀糸が5%を超えるもの))			
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)			
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール(天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド)			
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物(色無地)			
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏(酵素精練)、先染反物(結城紬)			
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物 (黄八丈)			
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物(色無地)			
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物(色無地、江戸小紋)、白生地(表地)			
120	宮崎(株)	茨城県結城市	<b>先染反物(結城紬)</b>			
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地 (表地 (色無地、訪問着))			
122	長島繊維(株)	栃木県足利市	後染反物(色無地、小紋、付下、訪問着)、後染帯地			
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物(色無地)			
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物(色無地)			
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物(小紋)、ニット(靴下)			
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏 (酵素精練)			
127	(有)樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地(表地用(紋意匠))			

表示者	企業名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
登録番号	<u></u> 工	/// 11. /-	
128	大門屋	福井県大野市	白生地(牛首紬)、後染帯地(牛首紬)、ショール(牛首 紬)、先染反物(飯田紬)、白生地着尺(信州紬)
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物(帯揚、半衿)
130	(株)しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物(小紋)
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物(小紋)
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物(小紋)
133	西川産業(株)	東京都中央区	寝具寝装品 (掛布団)
134	繭工房華美	宮城県塩竃市	寝衣 (長肌着、短肌着)
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物(小紋)
137	(株)髙島屋呉服店	島根県益田市	後染反物(小紋)
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、褌、マフラー(手織り)
139	(株)丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物(小紋)
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物(小紋)
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物(小紋)、ニット(靴下)
142	五嶋(株)	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株)布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏(トルマリン加工)、後染反物(小紋(変一越、紋 意匠))
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物(色無地)、後染帯地
146	宮井(株)	京都市中京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠)、加賀友禅)
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物(色無地、小紋(変一越、紋意匠))
149	(株)甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品(スカーフ、ストール、トランクス)、 パジャマ、袱紗
150	(有) さいとう呉服店	千葉県市川市	後染反物(色無地、付下)
151	(株)西松屋	兵庫県姫路市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))
152	(株)西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
153	勝山織物(株)	京都市北区	先染帯地(金銀糸が5%を超えるもの)
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物 (型友禅、羽二重色無地)、先染反物 (ジャガード織)
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、ショール
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物(小紋)
159	(株) JS	山梨県富士吉田市	寝具寝装品(ふとん、ふとんカバー)、洋装品(スーツ地、コート地、スカート地、シャツ、ワンピース地)、 服飾品(スカーフ、ストール、ネックカバー、アームカバー、レッグカバー)
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地 (胴裏)、和装小物 (袱紗)、ネクタイ、帯地 (白塩瀬)
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物(小紋)

			T
表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
162	福絖織物(株)	福岡市西区	先染带地 (本袋男帯、八寸名古屋帯)
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地(表地)
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地(表地)
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品(布団、膝かけ)、ショール
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))、ニット(靴下)
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
174	(有) 山田呉服店	長野県諏訪市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物 (置賜紬)、ストール
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物 (大島紬)、先染帯地 (大島紬)
179	(株)宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地 (八寸名古屋帯)
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット(腹巻、靴下)
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物(小紋(変一越))
182	京呉服好一 (株)	京都市北区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
183	(株) パールトーン	京都市右京区	胴裏 (パールトーン加工)
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物 (小紋 (変一越))
185	マテリアル ローブ 麿	東京都練馬区	後染反物 (小紋 (変一越))
186	(株) せんば呉服	兵庫県尼崎市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠)、訪問着)、先染反物 (絣着尺)、後染帯地
187	(株)三越伊勢丹	東京都新宿区	白生地 (表地)、帯締、羽織紐、帯締 (金銀糸が 5%を超 えるもの)、ジャケット地
188	青山きもの(株) (青山きもの学院)	東京都港区	白生地(表地、夏物表地)
189	ニット青木(株)	東京都品川区	ニット (スーツ・パンツ、スーツ・スカート、ジャケット、アンサンブル、インナー)
190	渡豊工房	山形県山辺町	先染反物 (綾御召 (男物、女物)、市松綾御召 (草木染め)、もじり織 (草木染)、もじり織)、裏地 (紬八掛)、 先染ストール
191	(株) リンクピース	福岡市博多区	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))
192	(有) 新宮 (きもの宮下)	宮崎県宮崎市	後染反物(小紋(変一越))
193	アトリエITO 伊藤峯子	沖縄県那覇市	先染反物、先染带地
194	遊生染織工房 築城則子	北九州市八幡東区	先染反物
195	染織家 杉浦晶子	愛知県高浜市	先染反物、先染带地
196	(株) 夢工芸染の新井	東京都足立区	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)

	T				
表示者 登録番号	企業名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名		
197	(株) 嵯が野	埼玉県川越市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)		
198	(株) カインドウェア	東京都千代田区	ストール、ネクタイ		
199	(株) 新田	山形県米沢市	後染反物(ぼかし着尺)		
200	(株)ソーホー	京都市下京区	白生地(紋意匠無地縮緬・紋意匠縮緬)、後染反物(本加賀訪問着)、先染反物(大島紬)、先染帯地(袋帯)、 先染反物(御召)		
201	(株) すずのき	東京都品川区	後染反物(訪問着・色無地)、白生地(表地)		
202	メーカーズシャツ鎌倉(株)	神奈川県鎌倉市	ニット(肌着)		
203	(株) 丸本岩崎	北海道函館市	裏地(胴裏絹)		
204	(株) 緒方商店 (きもの心おがた)	愛媛県八幡浜市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))		
205	富士新幸(株)	山梨県都留市	真綿布団		
206	(有)浅井ローケツ	京都市右京区	後染反物(色無地・藍染)		
207	(有) 呉服のうめね	北九州市小倉北区	白生地(変一越)		
208	(株) ADESSO (きもの工房一休)	神戸市中央区	白生地(変一越)		
209	森秀織物(株)	群馬県桐生市	先染反物 (御召)		
210	(株) 龍村美術織物	京都市中京区	先染帯地(本袋帯(金銀糸が5%を超えるもの))		
211	(株) 長沼 (長沼静きもの学院)	東京都渋谷区	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))		
212	(株) 国際商事	東京都板橋区	ショール		
213	窪田織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物(大島紬、本場大島紬 12 マルキ)		
214	染織家 村江菊絵	東京都目黒区	<b>先染帯地(作家作品)、先染反物</b>		
215	片倉工業 (株)	東京都中央区	ニット(靴下)		
216	村田捺染加工(有)	群馬県桐生市	ストール		
217	(株) 京のきもの綾錦	京都市下京区	後染反物(訪問着、小紋、色無地)		
218	あや工房	沖縄県西原町	先染反物(首里織)、先染帯地(首里織)		
220	万兵 (株)	名古屋市中区	白生地(表地)		
221	横山(株)	京都市中京区	後染反物(小紋・訪問着)		
222	(株)カネヒサクリエーション	石川県金沢市	白生地(表地)		
223	柳晋哉	東京都世田谷区	先染反物		
224	(株)一声	京都市下京区	白生地(表地)		
225	(株)ヤマノホールディングス きもの事業本部	東京都渋谷区	後染反物 (小紋・訪問着)		
226	山口美術織物(株)	京都市山科区	白生地 (表地)		
227	(株)大醐	名古屋市北区	セリシン靴下、セリシン手袋		
228	(株) 中忠商店	京都市上京区	セリシン靴下、セリシン手袋		
229	(株)帛撰	京都市北区	先染帯地(名古屋帯、袋帯(金銀糸が5%を越えるもの))		
230	(株) 京朋	京都市中京区	白生地(表地)		
231	(有) 綵巧	京都市北区	先染反物(御召)、先染帯地(名古屋帯(組帯))		
232	ウライ (株)	京都市下京区	後染反物 (小紋)、後染帯地 (袋帯 (表地のみ))		
233	大橋メリヤス	群馬県桐生市	ニットストール(市松柄、杉柄、繭玉花びら)		

# ー般財団法人大日本蚕糸会から

### 一般財団法人大日本蚕糸会活動日誌 № 63 (R元.7.1 ~ R元.9.30)

月日	活 動 内 容 等
7/16 ~ 23	宝絹×女子美 初夏に奏でるハーモニー(東京都有楽町 蚕糸会館)
7/24	第 4 回大日本蚕糸会の助成事業のあり方検討会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
8/2 ~ 5	夏休み子ども教室(東京都有楽町 蚕糸会館)
8/6~7	信州ブランド繭・蚕用途開発協議会委員会への出席等(長野県)
8/7 ~ 8	子ども霞が関見学デーへの協力(東京都霞が関 農林水産省)
8/21 ~ 22	シルクのまちづくり市区町村協議会の総会への出席(長野県)
8/22 ~ 23	蚕糸絹文化振興対策事業に関する現地調査(山形・岩手県)
8/28	純国産絹マーク審査委員会(令和元年度第2次) (東京都有楽町 蚕糸会館)
8/30	第 5 回大日本蚕糸会の助成事業のあり方検討会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
9/3	蚕糸絹文化振興対策事業に関する現地調査(群馬県)
9/10 ~ 11	蚕糸絹文化振興対策事業に関する現地調査(福島県)
9/13	全国シルクビジネス協議会設立総会(東京都有楽町 蚕糸会館)
9/26	蚕糸絹文化振興対策事業に関する現地調査(群馬県)

# 蚕糸絹関係博物館一覧

名称	=	住 所	電話
一般財団法人北海道開拓の村	004-0006	北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1	011-898-2692
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町1丁目1-16	0238-22-8141
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町1丁目1-87	0238-23-3525
夕鶴の里資料館 語り部の館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025 - 2	0238-47-5800
松ヶ岡開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡 29	0235-62-3985
公益財団法人致道(ちどう)博物館	997-0036	山形県鶴岡市家中新町 10 - 18	0235-22-1199
酒田市美術館	998-0055	山形県酒田市飯森山三丁目 17 - 95	0234-31-0095
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
結城市伝統工芸館	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018 - 1	0296-32-7949
紬の里	307-0001	茨城県結城市結城 2515	0296-32-8002
本場結城紬郷土館	307-0000	茨城県結城市浦町 116	0296-32-2121
本場結城紬染織資料館「手緒里」	307-0001	茨城県結城市結城 12-2	0296-33-3111
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
おやま本場結城紬クラフト館	323-0023	栃木県小山市中央町 3-7-1 ロブレビル 1F	0285-32-6477
足利織物伝承館	326-0814	栃木県足利市通 3-2589	0284-22-3004
足利まちなか遊学館	326-0814	栃木県足利市通 1-2673-1	0284-41-8201
足利織姫神社	326-0817	栃木県足利市西宮町 3889	0284-22-0313
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5 - 1	0287-36-0949
高崎市歴史民俗資料館	370-0027	群馬県高崎市上滝町 1058	027-352-1261
群馬県立歴史博物館	370-1293	群馬県高崎市綿貫 992 - 1 (群馬の森公園内)	027-346-5522
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344‐1235	027-340-6060
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
富岡製糸場	370-2316	群馬県富岡市富岡 1-1	0274-64-0005
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地(敷島公園バラ園内)	027-231-9875
織物参考館"紫 (ゆかり)"	376-0034	群馬県桐生市東4丁目2番24号	0277-45-3111
桐生織物記念館(桐生織物協同組合)	376-0044	群馬県桐生市永楽町 6-6	0277-43-2510
コノドント館みどり市大間々博物館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
たくみの里	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-2211
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
ちちぶ銘仙館	368-0032	埼玉県秩父市熊木町 28-1	0494-21-2112
秩父ふるさと館	368-0044	埼玉県秩父市本町 3-1	0494-23-7300
きもの芸術館(一般財団法人国際文化きもの学会)	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ~ 8F	03-3400-0286
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3 - 22 - 7	03-3299-2387
蚕糸科学研究所展示室	169-0073	東京都新宿区百人町 3-25-1	03-3368-4891
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3 - 26 - 2	0424-81-7656
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2 - 24 - 16	042-388-7163
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鑓水 989 - 2	0426-76-4064
八王子市郷土資料館	192-0902	東京都八王子市上野町 33	042-622-8939

名称	₹	住 所	電話
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
シルク博物館	231-0023	横浜市中区山下町1番地シルクセンター内	045-641-0841
神奈川県立歴史博物館	231-0006	横浜市中区南仲通 5-60	045-201-0926
相模田名民家資料館	229-1124	相模原市田名 4853番2(大杉公園隣り)	042-761-7118
小千谷織物工房 小千谷織物同業協同組合	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25 小千谷市総合産業会館サンプラザ内	0258-83-2329
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1 - 8 - 25	0258-83-4800
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
塩沢つむぎ記念館(織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227 - 14	0257-82-4888
白山工房(織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村ヌ 17	076-259-2859
はたや記念館ゆめおーれ勝山	911-0802	福井県勝山市昭和町 1 - 7 - 40	0779-87-1200
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619 - 1	055-269-3399
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜2丁目4番1号臥竜公園内	026-245-0407
常田館(絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1 - 10 - 3 笠原工業(株)内	0268-22-1230
繊維学部資料館	386-8567	長野県上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内	0268-21-5454
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸3番3号(上田城跡公園内)	0268-22-1274
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564 - 1	0268-42-2158
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ(株)内	0268-41-1800
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
日本司法博物館(松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196 - 1	0263-47-4515
岡谷蚕糸博物館(シルクファクトおかや)	394-0021	長野県岡谷市郷田1丁目4番8号	0266-23-3489
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618 - 24	0263-83-3835
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299 - 1	0574-28-1110
石川繊維資料館	400-0886	愛知県豊橋市東小田原町 109 - 1	0532-52-5265
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
豊橋市民俗資料収蔵室	440-0021	愛知県豊橋市多米町滝の谷 34-1-1	0532-63-2026
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204 - 1	059-293-0010
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織物文化館	601-1123	京都市左京区静市市原町 265 川島織物セルコン内	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
織成館	602-8482	京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
千總ギャラリー	604-8166	京都市中京区御倉町 80 番地千總本社ビル 2 階	075-211-2531
編の白生地資料館	604-8176	京都市中京区龍池町 448 - 2 伊と幸ビル	075-254-5884
まゆ村	616-8384	京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ(株)周辺敷地内	0773-43-1050
織元田勇	629-3104		0772-72-0307

名 称	₹	住 所	電話
上垣守国(うえがきもりくに)養蚕記念館	667-0321	兵庫県養父市大屋町蔵垣 246 - 2	079-669-1580
デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)	651-0082	神戸市中央区小野浜町 1-4	078-325-2201
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村8号177番地1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
藤村製絲記念館	781-6402	高知県安芸郡奈半利町乙 2630	0887-38-4711
美馬蚕糸会館	771-2107	徳島県美馬市美馬町谷口 5-1	0883-63-2502

## 蚕糸絹関係機関ホームペーシ

#### 【行 政]

農林水産省 http://www.maff.go.jp 経済産業省 http://www.meti.go.jp

### 【蚕糸絹業関係団体】

(一財) 大日本蚕糸会 http://www.silk.or.jp (一財) 大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンター http://www.silk-center.or.jp (一社) 日本絹人繊織物工業会 http://www.kinujinsen.com

(一財) 日本真綿協会 http://www.mawata.or.jp 丹後織物工業組合 http://www.tanko.or.jp 西陣織工業組合 http://www.nishijin.or.jp TAFS(東京織物卸商業組合) http://www.tafs.or.jp

KOMS(京都織物卸商業組合) http://www.fashion-kyoto.or.jp

(公財) 京都和装産業振興財団 http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html

(一財) 伝統的工芸品産業振興協会 http://www.kougeihin.jp 蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会 http://takaraginu.com

### 【大学・試験研究機関】

(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 http://www.naro.affrc.go.jp

(国) 北海道大学応用分子生物学分野応用分子昆虫学研究室 http://www.agr.hokudai.ac.jp/rfoa/abs/abs2-1.html

(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース応用昆虫研究室 http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/department2/agri/life.html

(国) 宇都宮大学農学部分子昆虫学研究室 http://shigen.mine.utsunomiya-u.ac.jp/insectbiotechnology/

(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産·環境生物学専攻昆虫遺伝研究室

http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html (国) 東京農工大学農学部生物生産学科蚕学研究室

http://www.tuat.ac.jp/~kaiko (国) 東京農工大学工学部生命工学科 http://www.tuat.ac.jp/~seimei

(国) 名古屋大学農学部 http://www.agr.nagoya-u.ac.jp (国) 信州大学繊維学部 http://www.tex.shinshu-u.ac.jp (国) 京都工芸繊維大学工芸科学部応用生物学課程 http://www.bio.kit.ac.jp

(国) 鳥取大学農学部生物資源環境学科昆虫機能学教育研究分野 http://muses.muses.tottori-u.ac.jp

(国) 山口大学農学部生物資源環境科学科

http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html (国) 九州大学大学院生物資源環境科学府蚕学研究室 http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sangaku

群馬県蚕糸技術センター http://www.pref.gunma.jp/07/p14710007.html 群馬県繊維工業試験場 http://www.pref.gunma.jp/07/p20210013.html

京都府織物・機械金属振興センター http://www.silk.pref.kyoto.jp/index-sub.html (地独) 京都市産業技術研究所 http://www.tc-kyoto.or.jp

(公財) 衣笠繊維研究所 http://krf-textile.com (一財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 http://www.silk.or.jp/silk\_kagaku/index.html (一財) 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 http://www.silk.or.jp/silk\_gijyutu/index.html

【学 会】

日本シルク学会 http://jssst.sakura.ne.jp (一社) 日本蚕糸学会 http://jsss.or.jp

日本野蚕学会 http://jswsmo.appspot.com

【博物館】

(一財) シルクセンタ-国際貿易観光会館 シルク博物館 http://www.silkcenter-kbkk.jp/museum

群馬県立日本絹の里 http://www.nippon-kinunosato.or.jp

愛媛県西予市野村シルク博物館 http://www.city.seiyo.ehime.jp/soshiki/silkmuseum

東京農工大学科学博物館 http://www.tuat.ac.jp/~museum

### 【博物館】

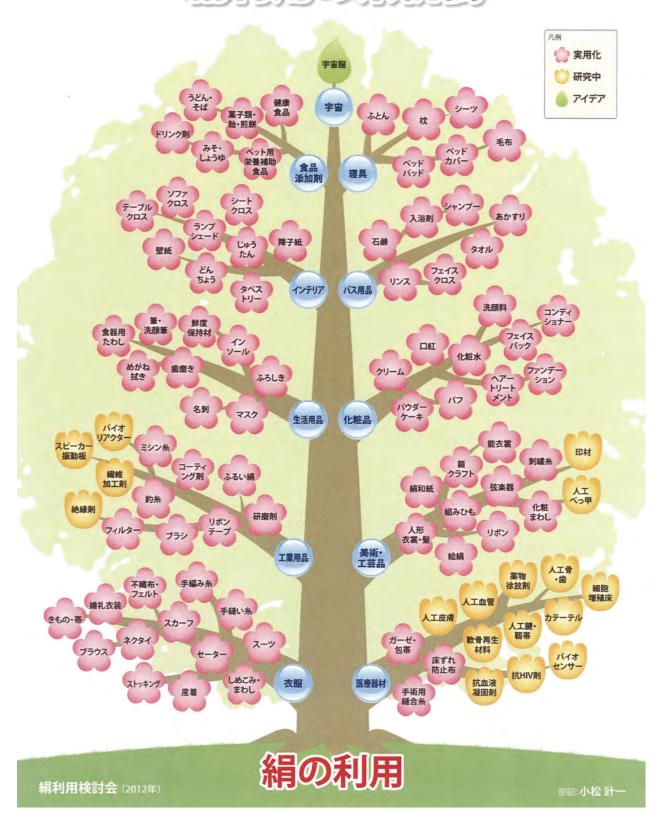
駒ヶ根シルクミュージアム 織成館(京都市上京区) 高崎市染料植物園 群馬県立歴史博物館 岡谷蚕糸博物館(シルクファクトおかや) はたや記念館ゆめおーれ勝山 美馬蚕糸館

### 【富岡製糸場と絹産業遺産群】

富岡製糸場 群馬県企画部世界遺産課 ぐんま絹遺産 上毛新聞社関連記事 http://komagane-silk.com/ http://orinasukan.skr.jp http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2014011400979 http://grekisi.pref.gunma.jp http://silkfact.jp http://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya https://mimasanshikan.wixsite.com/mimasanshikan

http://www.tomioka-silk.jp/hp/index.html http://worldheritage.pref.gunma.jp/ja http://worldheritage.pref.gunma.jp/kinuisan http://jomo-news.co.jp/ns/series/silk\_index.html

# 絹利用の系統樹



### 統計資料の年間掲載計画

<国内>	1月号	4月号	7月号	10月号
(1)蚕糸絹業の概要	0	0	0	0
(2)養蚕農家数	0	0	0	0
(3)繭生産数量の推移	0	0	0	0
(4)蚕期別、都府県別養蚕農家戸数		0		
(5)蚕期別、都府県別繭生産数量		0		
(6)蚕品種別蚕種製造数量の推移		0		
(7)生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	0	0	0	0
(8)生糸の繊度別生産数量の推移		0		0
(9)絹需給の推移(生産量換算試算)	0	0	0	0
(10)品目別·二次製品輸入数量(生糸量換算試算)		0		
(11)製糸工場の原料繭需給	0	0	0	0
(12)製糸工場の操業状況	0	0	0	0
(13)生糸在庫数量の内訳	0	0	0	0
(14)蚕糸関係品目別輸入状況		0		
(15)生糸の原産国別輸入数量		0		0
(16)絹糸の原産国別輸入数量		0		0
(17)生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価		0		0
(18)絹織物生産数量	0	0	0	0
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	0	0	0	0
<海外>				
(1)世界主要国の家蚕繭生産数量	0	0	0	0
(2)世界主要国の家蚕生糸生産数量		0		
(3)中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量		0		
(4)中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	0	0	0	0

注) <国内>(10) は数値が更新されたので掲載した。

## 統計資料目次

(国内)	>
(1)	蚕糸絹業の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
(2)	養蚕農家数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
(3)	繭生産数量の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・ 50
(4)	蚕期別、都府県別養蚕農家戸数
(5)	蚕期別、都府県別繭生産数量
(6)	蚕品種別蚕種製造数量の推移
(7)	生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況 ・・・・・・・・・ 51
(8)	生糸の繊度別生産数量の推移・・・・・・・・・・・・ 52
(9)	絹需給の推移(生糸量換算試算)・・・・・・・・・・・・・ 53
(10)	品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算) ・・・・・・・・ 54
(11)	製糸工場の原料繭需給・・・・・・・・・・・・・・・ 55
(12)	製糸工場の操業状況 ・・・・・・・・・・・・・・・ 56
(13)	生糸在庫数量の内訳 ・・・・・・・・・・・・・・・ 57
(14)	蚕糸関係品目別輸入状況
(15)	生糸の原産国別輸入数量・・・・・・・・・・・・・・・ 58
(16)	絹糸の原産国別輸入数量・・・・・・・・・・・・・・ 59
(17)	生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価・・・・・・・・・ 60
(18)	絹織物生産数量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
(19)	丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量・・・・・・・・・・・ 62
(海外)	>
(1)	世界主要国の家蚕繭生産数量・・・・・・・・・・・・・・ 63
(2)	世界主要国の家蚕生糸生産数量
(3)	中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量
(4)	中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格・・・・・・・・ 64

### -資料・国内-

#### (1) 蚕糸絹業の概要

	Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan									
	項目					製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
年次( Calen year		養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人繊織機 設備台数 (保有台 数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production	
	(平成)	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq.meters	
2000	(12)	3, 280	1, 244	379	9. 3	8	67	62. 9	32, 275	
2001	(13)	2, 730	1, 031	378	7. 2	8	63	56. 8	29, 801	
2002	(14)	2, 360	880	373	6. 5	17	68	51. 2	26, 826	
2003	(15)	2, 070	780	377	4. 8	14	64	48. 7	23, 935	
2004	(16)	1, 850	683	369	4. 4	13	62	45. 6	21, 895	
2005	(17)	1, 591	626	393	2. 5	10	62	43. 7	19, 816	
2006	(18)	1, 345	505	375	2. 0	9	82	41. 6	18, 507	
2007	(19)	1, 169	433	370	1. 8	8	83	40. 0	15, 466	
2008	(20)	1, 021	382	374	1. 6	6	80	38. 1	14, 043	
2009	(21)	915	327	357	1. 2	6	60	33. 6	9, 955	
2010	(22)	756	265	351	0. 9	7	49	35. 9	3, 611	
2011	(23)	627	220	351	0. 7	7	52	34. 7	3, 152	
2012	(24)	571	202	354	0. 5	7	35	33. 3	2, 912	
2013	(25)	486	168	346	0. 4	9	31	32. 0	2, 940	
2014	(26)	393	149	379	0. 4	9	34	-	2, 734	
2015	(27)	368	135	367	0. 4	8	30	-	2, 316	
2016	(28)	349	130	372	0. 3	8	26	_	2, 243	
2017	(29)	336	125	372	0. 3	8	28	-	2, 195	
2018	(30)	293	110	375	0. 3	8	46	_	2, 120	
								· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

資料 ・2008年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。

88.0

・2009年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(一財)大日本蚕糸会調査、2011年以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。

100.0

100.0

164.3

96.6

- ・2009年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査、2018年11月以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。
- ・2008年以前の絹業は経済産業省調査であり、2009年以降絹業は(一社)日本絹人繊織物工業会調査である。

100.9

(注) 2006年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

87.2

(注)製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、2002年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: • Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)

- National Federation of Agricultural Co-operative Associations and the Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009). The Dainippon Silk Foundation (after 2011)
- Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling , after 2009) The Dainippon Silk Foundation (after Nov. 2018)
- The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric , before 2008). Japan Silk & Rayon Weaver's Association (after 2009)

Note: Silk Fabric Production from 2006 includes spun silk fabrics.

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

前年比(%)

2018/2017

### (2)養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位:戸) (Unit: number)

項 目 年次 Item Year	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晚秋蚕 Late autumn silk-worm
2000	3, 280	2, 970	2, 170	2, 700
2001	2, 730	2, 410	1, 870	2, 270
2002	2, 360	1, 992	1, 720	1, 918
2003	2, 070	1, 875	1, 503	1, 751
2004	1, 850	1, 621	1, 371	1, 551
2005	1, 591	1, 420	1, 061	1, 345
2006	1, 345	1, 215	852	1, 102
2007	1, 169	1, 052	726	988
2008	1, 021	929	613	857
2009	915	814	647	755
2010	756	650	494	637
2011	627	562	358	531
2012	571	514	319	462
2013	486	422	260	399
2014	393	359	230	328
2015	368	323	221	313
2016	349	310	209	310
2017	336	307	201	280
2018	293	254	179	262
前年比(%) 2018/2017	87. 2	82. 7	89. 1	93. 6

資料:農林水産省統計情報部(~2001年) 全国農業協同組合連合会(2002年~2004年)

農林水産省生産局(2005~2008年)(一財)大日本蚕糸会(2009年~)

Source: The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries ( $\sim$ 2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002 $\sim$ 2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005~2008年).

The Dainippon Silk Foundation (2009年~).

### (3)繭生産数量の推移

Cocoon Production

項目		年 Annual	計 total		Cocoon produc	1戸当り tion per farm	リ収繭量 household rais	sing silk-worm
Item 年次	年間	春蚕	初秋蚕	晩秋蚕	年間	春蚕	初秋蚕	晩秋蚕
Year	Annual total	Spring silk-worm	early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm	Annual total	Spring silk-worm	early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
2000	1, 244	500	320	424	379	169	148	157
2001	1, 031	391	275	365	378	162	147	161
2002	880	330	231	320	373	166	134	167
2003	775	313	210	253	374	167	140	144
2004	675	256	176	243	369	158	128	157
2005	626	243	165	218	396	171	156	162
2006	505	209	122	173	375	172	143	157
2007	433	175	110	148	371	166	152	150
2008	382	147	96	139	374	158	157	162
2009	327	124	85	118	357	152	131	156
2010	265	107	60	98	351	165	121	154
2011	220	95	49	76	351	169	136	143
2012	202	79	50	73	354	155	156	159
2013	168	61	41	67	346	145	158	168
2014	149	55	36	58	379	153	157	176
2015	135	49	32	54	368	151	147	174
2016	130	47	32	50	372	153	155	162
2017	125	47	29	49	372	153	144	175
2018	110	41	24	46	375	161	134	176
前年比(%) 2018/2017	88. 0	87. 2	82. 8	93. 9	100. 9	105. 4	92. 9	100.3
2018年 構成比(%)	100. 0	37. 3	21.8	41.8	8			

資料:農林水産省統計情報部(~2001年) 全国農業協同組合連合会(2002年~2004年)

農林水産省生産局 (2005~2008年) (一財)大日本蚕糸会(2009年~)

Source: The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries ( $\sim$ 2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002  $\sim$  2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries ( $2005\sim2008$ 年).

The Dainippon Silk Foundation (2009年~).

### (7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export of Silk Yarn and Silk Fabric

		生	糸 F	Raw Silk		絹	糸	絹	織物
項目	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡	期末在庫		Yarn		abrics
日 日 日 日 日	Produ-			数 量 Domestic	数 量 Ending	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
Year &	ction	Imports	Exports	Deliveries	Stocks	Imports	Exports	Imports	Exports
Month	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(1)
暦 年	俵	俵	俵	俵	俵	俵	俵	1000SM	1000SM
Calendar Year						Bales of 60kg			
2010	882	12, 207	595	13, 220	3, 329	16, 306	324	8, 930	6, 302
2011	731	9, 323	578	10, 349	2, 456	17, 526	427	8, 422	6, 229
2012 2013	506 409	10, 032 9, 332	419 292	10, 274 9, 919	2, 180 1, 712	16, 179 15, 844	320 426	7, 218 6, 662	5, 545 5, 431
2013	409	9, 332 8, 235	14	9, 919 8, 726	1, 712	14, 820	330	6, 098	5, 431
2014	378	6, 479	0	7, 194	1, 410	14, 020	302	5, 468	5, 085
2016	317	6, 548	0	6, 869	1, 406	12, 094	177	5, 207	4, 940
2017	339	7, 560	1	7, 557	1, 747	14, 560	245	4, 897	4, 785
2018	339	5, 038	1	5, 793	1, 330	11, 092	213	4, 151	4, 854
2017 — 1	23	552	0	534	1, 447	1, 314	7	522	249
2	23	509	0	479	1, 500	535	35	203	454
3	23	805	1	693	1, 634	1, 376	21	456	469
4	26	0	0	122	1, 538	1, 255	23	371	437
5	36	997	0	1, 021	1, 550	1, 389	14	466	411
6	26	735	0	773	1, 538	1, 285	17	499	410
7	24	437	0	515	1, 484	960	18	388	441
8	25	839	0	799	1, 549	1, 443	9	391	355
9	35	664	0	543	1, 705	1, 259	12	395	381
10	31	700	0	725	1, 711	815	36	321	389
11	34	760	0	783	1, 722	1, 542	20	522	399
2018 — 1	33 25	561 778	0	569 728	1, 747	1, 388	34 19	360 453	390 312
2018 — 1	25 24	401	0	510	1, 822 1, 737	1, 200 798	11	342	312
3	28	496	0	600	1, 737	1, 080	22	241	523 510
4	24	0	0	145	1, 540	929	15	356	436
5	34	926	0	791	1, 709	1, 127	9	368	394
6	29	348	0	439	1, 647	941	11	357	455
7	24	348	0	387	1, 632	788	13	339	426
8	23	423	0	518	1, 560	706	16	355	352
9	32	184	1	300	1, 475	817	46	296	375
10	33	431	0	499	1, 440	936	24	408	443
11	29	346	0	496	1, 319	953	15	343	413
12	34	358	0	381	1, 330	819	12	291	412
2019 — 1	25	382	0	382	1, 355	855	18	486	362
2	27	358	0	402	1, 338	644	16	172	365
3	26	870	0	710	1, 524	920	5	266	484
4	18	1	1	264	1, 278	937	23	305	444
5	19	595	0	464	1, 428	1, 033	19	310	369
6	22	301	0	307	1, 444	834	8	359	389
7 資料: (A)(C)(D)(E) [	23 豊林水産劣生	392	0 0	418 泰幺拉会及7	1,441 (日本生幺問	922 屋協会(201	14	395	417

中央蚕糸協会 (2012.12~2018.10) (一財) 大日本蚕糸会 (2018.11~) (B) (F) (G) (H) (I) 財務省関税局

備考: 1. 国内引渡数量(D)= {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

- 2. kgを60kg俵に換算しているので、各月の計と合計とが一致しない場合がある。
- 3. (D) と (E) は2012年11月までと同年12月以降調査方法が変更したため連続性はない。

注) 2019年1月~3月の生糸国内引渡数量は補正済み。

Source: (A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

 $(\sim 2010.3)$  , Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010.4 $\sim 2012.11$ ),

Central Raw Silk Association (2012.12~2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11~)

(B) (F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks: 1. Domestic deliveries (D) =  $\{\text{Stock at end of the previous month} + (A) + (B)\} - \{(C) + (E)\}$ .

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

### (8) 生糸の繊度別生産数量の推移

Raw Silk Production by Sizes

(単位:60kg俵) (Unit:Bales of 60kg)

					(UIII L : Daies	
項 目 Item			生 Raw	糸 Silk		
年 月	計	18デニール以下	21デニール	27デニール	31デニール	その他
Year &	Total	17/19or 17/19	$\frac{217 - 70}{20/22}$	26/28	30/32	Others
Month	10001	finer	20/ 22	20/ 20	00/ 02	0 21101 0
暦 年						
Calendar Year						
2010	882	1	179	316	86	300
2011	731	1	188	249	89	204
2012	506	0	109	202	73	82
2013	409	0	109	105	57	138
2014	446	0	114	116	62	155
2015	378	0	146	86	36	110
2016	317	0	98	103	38	78
2017	339	0	107	95	53	84
2018 2017 – 1	339 23	0	106 5	104 8	65 4	63 6
2017 – 1	23	_	13	3	0	7
3	23	_	6	12	0	5
4	26		9	10	0	7
5	36	_	9	7	10	10
6	26	_	8	6	4	8
7	24	_	10	2	3	9
8	25	_	11	7	1	6
9	35	_	11	13	3	8
10	31	_	9	4	13	5
11	34	_	7	8	10	9
12	33		9	15	5	4
2018 - 1	25	_	4	10	8	3
2	24	_	12	8		4
3	28	_	12	2	4	10
4 5	24 34	_	5 10	16 12	9	3 3
6	29		8	11	6	4
7	24	_	8	7	5	4
8	23		6	7	5	5
9	32	_	8	8	12	4
10	33	_	13	7	5	8
11	29	_	7	13	1	7
12	34		13	3	10	8
2019 — 1	25	_	11	0	8	6
2	27	_	11	0	8	8
3	26	_	12	3	3	8
4	18	_	3	7	3	5
5	19	_	4	5	0	10
6	22	_	9	6	2	5
/	23		9	5	1	8

資料:農林水産省生産局(~2010.3) 中央蚕糸協会(2010.4~2018.10) (一財) 大日本蚕糸会(2018.11~)

備考:kgを60kg俵に換算しているので、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source: The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and

Fisheries (~2010.3). Central Raw Silk Association (2010.4~2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11~)

 $\label{lem:Remarks:Monthly volume may not add up the total volume due to round off.} \\$ 

### (9) 絹需給の推移 (生糸量換算試算)

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位:千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目			供給	計 Supp	oly Total	1				面	要計 De	mand Tota	al (2)=(1)	-4		期末
Item		期初	生産		輸	入 Imp	ort				輸	出 Ехр	ort		内 需	在庫
暦年 Calendar Year		在庫 Opening Stocks	Produc- tion	計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second		計③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	Domestic Demand 2-3	Ending Stocks ④
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71
2008	276	71	2	203	15	23	20	145	213	16	0	0	15	1	197	63
2009	237	63	1	173	12	16	15	130	190	16	0	0	15	1	174	47
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
2013	248	46	0	202	9	16	13	164	203	14	0	0	13	1	189	45
2014	225	45	0	180	8	15	12	145	180	14	0	0	13	1	166	45
2015	221	45	0	176	6	14	11	145	176	17	0	0	12	5	159	45
2016	239	45	0	194	7	12	14	161	194	15	0	0	9	6	178	45
2017	239	45	0	194	8	15	9	162	194	21	0	0	11	10	172	45
2018	205	45	0	160	5	11	8	135	160	26	0	0	10	16	134	45
前年比(%) 2018/2017	86	100	-	82	63	76	94	83	82	122	_	_	93	155	78	100

資料:蚕糸業需給·価格動向隔月報·繊維統計月報·日本貿易月報

注) 2013年から期末在庫を45千俵とする。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics"

### (10)品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)

Breakdown of Silk Second Products Imports (Raw Silk Value Estimation)

(単位:千俵)

(Unit:1,000 Bales of 60kg)

	<b>暦</b> 年								
	項目 Calendar Year	2013	2014	2015	2016	2017	2018	前年比%	構成比%
	Item							y/y	ratio
	男子用外衣類	3. 1	3. 4	2. 4	2. 2	1.7	1.3	76. 5	1.0
	Men's upper garments								
	女子用外衣類	63. 5	53. 4	65. 6	73. 9	81. 2	86. 7	106.8	64. 1
	Women's upper garments								
Produ	うちブラウス	6. 0	2. 9	1. 2	1.0	0. 9	0.3	33. 3	0. 2
布 du	Blouse of the inside								
1,+ =	男子用下着・寝具衣料	1.9	2. 0	1.3	1.9	2. 2	0.6	26. 6	0.4
nad <u>é</u>	Men's underwear • bedding cloth								
\ n	女子用下着・寝具衣料	20. 5	21. 9	18. 8	20. 3	22. 1	23. 1	104. 5	17. 1
2	男ナ用ト宿・浸具衣料 Men's underwear・ bedding cloth 女子用下着・寝具衣料 Women's underwear・ bedding cloth								
製으	ハンカチ	0. 4	0. 3	0. 3	0. 2	0.3	0. 1	27. 7	0. 1
oth	Handkerchief								
	ショール、スカーフ類	2. 2	2. 0	1.9	1.5	1.4	0.3	24. 1	0. 2
	Shawl. scarves								
	ネクタイ類	11. 9	9. 7	7.8	7. 9	10.5	1.4	18. 1	1.1
	Ties								
	メリヤス、クロセス編物	26. 1	20. 4	17. 9	23. 2	11.1	3. 9	34. 9	2. 9
$\vdash$	nit.kurose knitting								
	その他の洋装類	18. 9	17. 8	15. 9	15. 4	14.8	13. 7	92. 2	10. 1
	ther western clothes	110 5	100.0	101.0	440.5	100 1	101 1	00.7	07.0
1	羊 装 類 計 	148. 5	130. 9	131.9	146. 5	162. 4	131.1	80. 7	97.0
_	estern clothes subtotal	10.0	10.0	10.0	11 5	10.0	1.0	0.7	0.0
1	证 装 類 計	13. 0	12. 2	10. 3	11.5	13. 9	1. 2	8. 7	0.9
J	apanese clothes subtotal	11 0	10 1	0.0	10.1	10.0	0.0	0.0	0.0
	うち絹製の帯小物等   Silly abi accessory of the inside	11.0	10. 1	8. 6	10. 1	12. 3	0.0	0.0	0.0
	Silk obi accessorys of the inside	0 0	1 0	0.6	0 E	0.6	2.0	111 6	0.1
1	その他 thers	2. 3	1.8	2. 6	2. 5	2. 6	2. 9	111.6	2. 1
U	uners 合 計	163. 8	144. 9	144. 7	160. 5	161. 9	135. 2	83. 5	100.0
	□ āl Total	100.0	ነ 44. ሃ	144. <i>l</i>	100.0	101.9	100. Z	00.0	100.0
	ισται								

資料 : 財務省「日本貿易月報」

注):ラウンドにより合計が一致しないことがある。

Source: The Custums Bureau, Ministry of Finance "Trade Statistics"

Note: Total may not added up due to round off.

#### (11)製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位:生繭.t) (Unit: Ton by fresh weight)

項目	(Unit: ion by fresh weight) 総計								
Item		Grand Total							
年 月	受入数量	消費数量	期末在庫数量						
Year &	又八 <u></u> Receipts	月貝奴里 Put in Process	Ending Stocks						
Month	·		0						
暦 年									
Calendar Year		200							
2010	240	299	263						
2011 2012	189	162	237						
2012	185 142	209 137	183 188						
2013	128	158	158						
2015	116	159	115						
2016	115	110	120						
2017	103	120	103						
2018	92	117	78						
2017 — 1	1	8	113						
2	0	9	104						
3	0	8	96						
4	1	9	88						
5	0	12	76						
6	22	9	89						
7	25	9	105						
8	12	9	108						
9	1	12	97						
10	33	11	119						
11 12	8 0	12 12	115 103						
2018 — 1	0	9	94						
2016 — 1	2	8	88						
3	0	11	77						
4	0	8	69						
5	0	12	57						
6	18	10	65						
7	20	8	77						
8	9	8	78						
9	0	11	66						
10	36	11	91						
11	8	10	89						
12	0	11	78						
2019 — 1	2	9	71						
2	0	10	61						
3	0	9	52						
4	0	7	45						
5	0	7	38						
6	18	8	48						
7 資料:農林水産省生産局(~2016	13	8	53						

資料:農林水産省生産局(~2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4~2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12~2018.10) (一財) 大日本蚕糸会(2018.11~)

備考:1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

- 2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。
- 3.2015年9月の消費数量は焼失分29tを含む。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries ( $\sim$ 2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010. 4~2012. 11).

Central Raw Silk Association (2012.12~2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11~)

Remarks: 1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding

#### (12)製糸工場の操業状況

Activities of Reeling Mills

項 Item	目	運転工場数	設 備 Reeling	数(台) Machines	運 転 率 (%)	操業日数	従業者数
年 月 Year &		Operating Reeling	運転可能 Operable	運 転 Operating	Operating	Days	Number of
Month		Mills	operable	Operating	Ratio	Operated	Workers
暦 年							
Calendar Year							
2010		7	118	58	49	247	73
2011		7	110	57	52	252	65
2012 2013		7 9	110 110	39 38	35 31	243 249	56 58
2013		9	110	38	34	261	58
2015		8	110	33	30	263	53
2016		8	110	29	26	267	57
2017		8	110	31	28	266	54
2018		8	74	34	46	253	54
2017 -	1	7	110	33	30	19	51
	2	7	110	31	28	22	51
	3	6	110	19	17	23	42
	4	6	110	21	19	23	48
	5	7	110	33	30	23	58
	6 7	8 7	110 110	32 21	29 19	23 24	62 52
	8	6	110	35	32	22	48
	9	7	110	38	35	23	59
	10	8	110	34	31	22	62
	11	7	110	36	33	22	61
	2	7	110	41	37	20	59
	1	7	74	37	50	16	58
	2	6	74	28	38	19	48
	3	6	74	23	31	24	48
	4	5	74	25	34	22	39
	5	6	74	43	58	21	49
	6	8	74	34	46	24	61
	7	8	74	31	42	22	59 53
	8 9	7 7	74 74	40 37	54 50	17 22	53 56
	10	7	74 74	34	46	24	61
	11	7	74	35	47	22	61
	2	7	74	35	47	20	57
	1	7	74	36	49	20	56
	2	6	74	36	49	20	52
	3	7	74	34	46	21	56
	4	6	74	21	28	20	42
	5	6	74	19	26	21	42
	6	7	74	26	35	21	45
	7	7	74	23 3本生糸問屋協会(2	31	18	46

資料:農林水産省生産局(~2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4~2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12~2018.10)(一財)大日本蚕糸会(2018.11~)

備考:1.設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

- 2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。
- 3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (∼2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010.4~).

Central Raw Silk Association (2012.12~2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11~)

Remarks: 1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

- 2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.
- 3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

### (13) 生糸在庫数量の内訳

### Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位:60kg俵) (Unit:Bales of 60kg)

	T			III. Dales of ookg)
項 目 Item	計	製糸工場	生糸市場外 売買業者	生糸輸出 入業者
年 月	Total	Filatures	Domestic	Ex and
Year & Month	TOLAT	Mills	Dealers	Importers
暦 年				
Calendar Year				
2010	3, 329	319	2, 354	656
2011	2, 456	288	1, 651	517
2012	2, 180	124	2, 0	
2013	1, 712	110	1, 6	
2014	1, 653	78	1, 5	
2015	1, 410	94	1, 3	
2016	1	130	1, 2	
	1, 406			
2017	1, 747	156	1, 5	
2018	1, 330	230	1, 1	
2017 — 1	1, 447	129	1, 3	
2	1, 500	127	1, 3	
3	1, 634	124	1, 5	
4	1, 538	112	1, 4	
5	1, 550	123	1, 4	
6	1, 538	116	1, 4	
7	1, 484	107	1, 3	
8	1, 549	107	1, 4	
9	1, 705	119	1, 5	
10	1, 711	123	1, 5	
11	1, 722	138	1, 5	
12	1, 747	156	1, 5	
2018 — 1	1, 822	156	1, 6	66
2	1, 737	158	1, 5	79
3	1, 661	166	1, 4	95
4	1, 540	161	1, 3	79
5	1, 709	174	1, 5	35
6	1, 647	184	1, 4	63
7	1, 632	182	1, 4	50
8	1, 560	188	1, 3	
9	1, 475	199	1, 2	
10	1, 440	216	1, 2	
11	1, 319	219	1, 1	
12	1, 330	230	1, 1	
2019 — 1	1, 355	230	1, 1	
2019 — 1	1, 338	246	1, 0	
3	1, 524	239	1, 2	
4	1, 324	236	1, 0	
5			1, 1	
	1, 428	239		
6	1, 444	245	1, 1	
7	1, 441	242	1, 1	<del>ชช</del>

資料 : 農林水産省生産局(~2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4~2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12~2018.10) (一財) 大日本蚕糸会(2018.11~)

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries ( $\sim$ 2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010.4~2012.11).

Central Raw Silk Association (2012.12 $\sim$ 2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11 $\sim$ )

#### (15) 生糸の原産国別輸入数量 Raw Silk Imports

(単位:60 k g 俵) (Unit:Bales of 60kg)

		•	T	(Unit: Bales	OI OOKg)	
国 名 Country	計	中国	ブラジル	ベトナム	タイ	その他
年 月 Year & Month	Total	China	Brazil	Vietnam	Thailand	Others
暦 年 Calendar Year						
2010	12209 (65)	8411 (40)	3706 (25)	_	32	_
2011	9323 (63)	7170 (32)	2136 (30)	_	5	_
2012	10032 (49)	8628 (36)	1403 (13)	-	-	-
2013	9332 (98)	8047 (59)	1275 (34)	10 (5)	_	-
2014	8241 (90)	7001 (75)	1143 (15)	70	0	20
2015	6479 (58)	5569 (49)	887 (9)	20	2	-
2016	6546 (52)	5378 (44)	1142 (8)	24	2	-
2017	7560 (68)	6008 (62)	1456 (5)	91	2	1
2018	5038 (51)	3484 (46)	1446 (5)	50	59	-
2017 – 1	552 (7)	453 (7)	99	-	-	-
2	509 (8)	443 (8)	66	-	-	-
3	805	636	137	30	2	-
4	-	-	_	_	-	-
5	997 (9)	708 (8)	289 (0)	_	-	-
6	735 (5)	591 (5)	117	27	-	-
7	437 (1)	321	85 (1)	32	-	-
8	839 (8)	653 (6)	186 (2)	-	-	-
9	664 (4)	584 (4)	81	-	-	-
10	700 (17)	603 (17)	94	3	-	1
11	760 (7)	593 (5)	167 (2)	-	-	-
12	561 (2)	424 (2)	136	-	-	-
2018 – 1	778 (4)	640 (4)	116	-	22	-
2	401	266	135	_	_	-
3	496 (5)	385 (5)	100	-	11	-
4	-	_	_	_	_	-
5	926 (17)	667 (15)	259 (2)	_	-	-
6	348	234	95	_	20	-
7	348 (13)	343 (13)	5	_	-	-
8	423 (6)	182 (3)	241 (3)	_	-	-
9	184 (5)	78 (5)	105	_	-	-
10	431 (1)	225 (1)	206	<del>-</del> 	<del>-</del>	-
11	346	214	81	50	1	-
12	358	249	104	-	5	-
2019 – 1	382 (8)	299 (5)	80	-	3 (3)	-
2	358	236	122	_	-	-
3	858 (12)	679 (7)	178 (5)	_	-	_
4	1	1	-	_	_	-
5	595 (11)	438 (11)	146	_	-	_
6	301	177	124	_	_	_
7 答 料 · 財務省開税目	389 (3)	328	61 (3)	_	_	_

資 料 : 財務省関税局

備考: 1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

2. ()書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Country volume may not add up the total volume due to round off.

2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

### (16) 絹糸の原産国別輸入数量 Silk Yarn Imports

(単位:60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

						•	Daics of	<u> </u>
国名 年月 Count	ry	計 Total	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
Year & Month	\	TOLAT	GIIIIIa	Vietnaiii	Italy	USA	Drazii	others
曆 年 Calendar Year								
2010		16, 306	9, 675	4, 161	16	_	1, 716	205
2011		17, 526	10, 384	5, 129	7	_	1, 131	212
2012		16, 179	9, 924	4, 908	15	_	1, 109	223
2013		15, 844	9, 148	5, 783	33	_	878	3
2014		14, 820	8, 190	5, 733	8	_	867	22
2015 2016		14, 051 12, 094	7, 928 7, 289	5, 586 4, 074	4 16	0 0	531 711	2 4
2010		14, 560	8, 431	5, 256	10	0	862	0
2018		11, 092	6, 217	4, 031	10	0	802	32
2017 —	1	1, 314	931	326	2	_	54	_
	2	535	199	307	3	_	26	_
	3	1, 376	725	540	0	_	111	_
	4	1, 255	630	595	_	_	30	_
	5	1, 389	844	423	_	0	121	_
	6	1, 285	821	397	_	_	67	_
	7	960	493	426	0	_	40	_
	8	1, 443	795	534	1	_	112	_
	9	1, 259	838	371	_	_	50	0
	10	815	459	313	2	0	41	_
	11	1, 542	833	570	1	_	137	_
	12	1, 388	862	454	1	0	71	
2018 —	1	1, 200	613	526	1	_	60	_
	2	798	449	299	1	_	49	_
	3	1, 080	598	370	2	0	109	_
	4	929	553	365	0	_	10	_
	5	1, 127	666	321	_	_	141 81	_
	6 7	941 788	417 459	443 318	_	_	12	_
	8	706	301	279			98	27
	9	817	485	266	1		66	
	10	936	599	234	1		99	4
	11	953	540	386	1		25	0
	12	819	538	226	2	_	52	1
2019 —	1	855	545	251	3	_	57	
	2	644	391	189	3	_	61	_
	3	920	569	256	7	_	89	_
	4	937	672	255	1	_	8	1
	5	1, 033	535	401	_	_	96	_
	6	834	518	234	_	_	83	_
	7	922	572	327	0	_	22	_
**************************************								

資料 : 財務省関税局

備考: kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : Country volume may not add up the total volume due to round off.

### (17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価

Raw Silk and Silk Yarn Imports in Major Countries

単位:俵,円/Kg

	= -	Unit:bale of 60kg, yen,									
1	頁 目 Item	輸	入生糸(道	<b>M関ベース</b>	()		輸.	入絹糸(i	<b>通関ベース</b>	.)	
			Raw Sil						n Import		
年月			国 ina		ジル zil		国 ina		ジル zil		ナム tnam
Year &		俵	単価	俵	単価	俵	単価	俵	単価	俵	単価
Month		bales	a unit price	bales	a unit price	bales	a unit price	bales	a unit price	bales	a unit price
暦 年	V										
Calendar 2010	rear	8, 411	3, 667	3, 706	3, 773	9, 675	3, 730	1, 706	4, 161	4, 606	3, 411
2011		7, 170	4, 469	2, 136	5, 492	10, 384	4, 707	1, 722	5, 398	5, 429	4, 402
2012		8, 628	4, 293	1, 404	5, 290	9, 924	4, 383	1, 110	6, 078	4, 908	4, 493
2013		8, 047	5, 954	1, 275	7, 420	9, 148	6, 150	878	8, 409	5, 783	6, 091
2014		6, 925	6, 449	1, 127	8, 362	8, 190	6, 609	867	9, 480	5, 743	6, 794
2015		5, 520	6, 803	879	8, 199	7, 928	6, 908	531	9, 261	5, 586	7, 283
2016		5, 334	5, 614	1, 134	6, 164	7, 289	5, 764	711	6, 654	4, 074	5, 946
2017		5, 946	6, 574	1, 451	6, 517	8, 431	6, 762	862	7, 381	5, 256	6, 627
2018		3, 438	7, 973	1, 441	7, 857	6, 217	8, 090	802	8, 551	4, 031	7, 754
2017 -	1	446	6, 355	99	6, 513	931	6, 657	54	7, 305	326	6, 623
	2	435	5, 944	66	6, 352	199	6, 385	26	7, 265	307	6, 541
	3	636	6, 287	137	6, 509	725	6, 585	111	7, 301	540	6, 641
	4	_	_	_	_	630	6, 213	30	6, 987	595	6, 115
	5	700	6, 219	288	6, 363	844	6, 551	121	7, 397	423	6, 382
	6	586	6, 234	117	6, 654	821	6, 398	67	7, 331	397	6, 364
	7	321	6, 457	84	6, 742	493	6, 743	40	7, 527	426	6, 781
	8	647	6, 313	184	6, 645	795	6, 611	112	7, 221	534	6, 577
	9	580	6, 629	81	6, 485	838	6, 760	50	7, 240	371	6, 703
	10 11	586 588	6, 996 7, 487	94 165	6, 847 6, 673	459 833	7, 011 7, 288	41 137	7, 433 7, 539	313 570	6, 907 6, 926
	12	422	7, 487 7, 495	136	6, 112	862	7, 288	71	7, 339	454	7, 083
2018 -	1	636	7, 433	116	6, 975	613	7, 868	60	7, 723	526	7, 120
2010	2	266	7, 749	135	6, 760	449	7, 974	49	7, 531	299	7, 350
	3	380	7, 927	100	7, 033	598	8, 045	109	7, 625	370	7, 295
	4	_	_	_	_	553	8, 305	10	7, 806	365	7, 413
	5	652	8, 465	257	7, 266	666	8, 708	141	8, 010	321	7, 555
	6	234	8, 204	95	7, 869	417	8, 962	81	8, 645	443	7, 415
	7	330	8, 112	5	6, 983	459	8, 758	12	9, 540	318	8, 626
	8	179	8, 554	238	8, 060	301	8, 595	98	8, 678	279	8, 349
	9	73	8, 327	105	8, 160	485	8, 460	66	9, 131	266	8, 633
	10	224	7, 661	206	8, 882	599	7, 448	99	9, 738	234	8, 495
	11	214	7, 200	81	9, 098	540	7, 307	25	9, 676	386	7, 960
	12	249	7, 175	104	8, 790	538	7, 134	52	10, 020	226	7, 906
2019 -	1	294	6, 522	80	7, 491	545	6, 702	57	8, 335	251	7, 645
	2	236	6, 765	122	7, 725	391	6, 501	61	8, 471	189	7, 392
	3	679	6, 819	178	7, 366	569	6, 643	89	8, 134	256	7, 288
	4	1	7, 050	- 140	7 000	672	6, 604	8	8, 398	255	7, 199
	5	438	6, 765	146	7, 286	535 510	6, 486	96	7, 818	401	6, 644
	6 7	177	6, 490 6, 302	124 61	7, 031	518	6, 421 6, 126	83	7, 759	234	6, 756
次业1 . B+3	女少	328	6, 302	61	7, 196	572	6, 126	22	7, 791	327	6, 722

資料:財務省 通関統計による、単価はCIF価格である。

Source : The customs Bureau ,  ${\tt Ministry}$  of Finance

Remarks : A unit price is CIF price.

### (18) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位:1,000㎡) (Unit:1,000sq.meters)

	品 種		絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics								
	Type of	総数		広巾織物	Double Width			織物 Single	Width	その他の	
	Fabrics					先 練			先 練	後練(後染)	
年月		Grand	計	羽二重類	クレープ類	(先染)	計	ちりめん類	(先染)	Other Piece	
Year &		Total	Total	Habutae	Crepe	Dyed	Total	Silk crepe	Dyed	Dyed Silk	
Month						Yarn			Yarn	Fabrics	
暦 年											
Calendar Year											
2010		3,611	1,379	871	66	442	1,538	630	908	694	
2011		3,152	1,438	786	62	591	1,003	562	441	711	
2012		2,912	1,357	738	54	565	879	429	449	677	
2013		2,940	1,428	813	46	569	809	397	412	703	
2014		2,734	1,441	803	40	599	665	298	367	628	
2015		2,316	1,228	664	35	529	630	283	347	458	
2016		2,243	1,191	620	38	533	603	266	337	449	
2017		2,195	1,185	639	50	497	587	272	315	422	
2018		2,113	1,151	619	45	487	578	272	306	384	
2017 —		161	86	49	4	33	43	19	24	32	
	2	171	85	52	4	29	49	24	25	37	
	3	187	96	56	4	36	52	23	29	39	
	4	187	99	53	4	42	51	24	27	37	
	5	182	100	51	4	45	50	22	27	33	
	6	205	113	53	4	55	54	25	29	38	
	7	182	102	56	5	41	48	22	25	32	
	8	162	88	51	4	33	43	20	24	31	
	9	168	87	53	5	29	48	22	26	33	
	10	194	107	54	4	49	50	24	26	36	
	11	199	111	55	4	52	51	23	28	37	
2010	12	199	113	55	5	53	49	23	26	37	
2018 —		168	98	52	4	42	41	20	22	28	
	2	175	100	52	3	44	46	22	24	29	
	3	176	89	55	3	31	51	25	26	36	
	4 5	190	104 101	54	4	46	51	25	26	35 39	
		188		51 50	4	46	48	23	25		
	6	194	102	50	4	48	54	24	30	38	
	7 8	170 157	88 84	49 48	4	35 33	47 43	22 20	25 23	35 29	
	9	156	83	52		27	46	22	23	29	
	9 10	182	101	52 55	4	42	51	23		31	
	11	181	101	55 51	4	42	50	23	27 26	29	
	12	177	100	49	4	47			29		
2019 —		155	89	49	4	39	51 41	23 19	29	27 26	
2013 —	2	171	97	52	4	42	41	22	23	29	
	3	162	90	53	4	34	45	22	23	29	
	4	173	98	53	3	42	46	23	24	29	
	5	176	107	50	3	55	44	20	25	29	
	6	167	95	50	4	41	44	20	26	26	
	7	164	95	49	4	41	45	21		25	
<u> </u>		### 104	94	49	4	42	45	21	24	25	

資料 : (一社)日本絹人繊織物工業会

備考 : 絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association.

Remarks : Spun and mixed fabrics included .Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量 Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

	項 目 Item	絹織物生産数量		· 产数量         丹 後 Tango		長浜	Nagahama	西 陣 Nishijin			
	T COM	Silk Fabrics		(白生	Ξ地)	(白生	<b>上</b> 地)	(‡	帯)		
		Produ		(White F		(White F			sh)		
\		数量	前年(月)比	生産数量	前年(月)比	生産数量	前年(月)比	推定出荷数量	前年(月)比		
年 月		Quantity	Ratio to	Production	Ratio to	Production	Ratio to	Estimated	Ratio to		
Year &		(千㎡) (1,000 - ²)	previous	(反)	previous	(反)	previous	Shipments	previous		
Month		(1, 000m²)	year	(Roll)	year	(Roll)	year	(本)	year		
暦 年	/										
Calendar Y 2010	rear	3, 611	36. 3	515, 721	102. 5	84, 023	110.0	859, 244	115. 1		
2011		3, 152	87. 3	475, 989	92. 3	70, 803	84. 3	692, 943	80. 6		
2012		2, 912	92. 4	451, 503	94. 9	62, 910	88. 9	645, 679	92. 9		
2013		2, 940	101.0	433, 451	96. 0	55, 792	88. 7	630, 586	97. 7		
2014		2, 734	93. 0	400, 192	92. 3	53, 174	95. 3	600, 917	95. 3		
2015		2, 316	84. 7	351, 309	87. 8	41, 893	78. 8	526, 417	87. 6		
2016		2, 243	96. 8	310, 271	88. 3	38, 063	90. 9	488, 144	92. 7		
2017		2, 195	97. 9	294, 451	94. 9	36, 227	95. 2	477, 594	97. 8		
2018		2, 113	96. 3	282, 158	95. 8	36, 316	100. 2	426, 796	89. 4		
2017 -	1	161	93. 6	19, 191	87. 2	2, 721	100. 2	40, 302	103. 3		
2017	2	171	99. 4	25, 321	89. 5	2, 721	77. 0	37, 708	85. 0		
	3	171	99. 4 98. 4	23, 521	92. 2	2, 000 3, 134	95. 4	42, 381	86. 0		
		187									
	4		87. 4	28, 368	97. 2	3, 153	99.6	42, 281	89.8		
	5	182	89. 2	22, 784	94. 7	3, 158	97. 8	43, 917	101.6		
	6	205	96. 2	28, 370	106. 8	3, 096	91. 2	43, 127	99. 7		
	7	182	100. 6	26, 213	97. 8	3, 217	101. 5	35, 048	97. 0		
	8	162	100. 6	19, 448	90. 0	2, 652	80. 3	30, 977	94. 7		
	9	168	98. 2	26, 458	99. 4	3, 039	95. 7	39, 274	107. 5		
	10	194	103. 7	25, 167	94. 5	3, 164	94. 3	38, 479	100.8		
	11	199	104. 7	23, 926	96. 3	3, 049	94. 0	41, 467	104. 8		
	12	199	105. 9	25, 672	91. 1	3, 164	123. 8	42, 670	110.0		
2018 -	1	168	104. 3	17, 326	90. 3	3, 005	110. 4	35, 097	87. 1		
	2	175	102. 3	25, 063	99. 0	2, 912	108. 7	36, 007	95. 5		
	3	176	94. 1	23, 373	99. 3	3, 289	104. 9	40, 384	95. 3		
	4	190	101.6	25, 842	91. 1	3, 243	102. 9	41, 773	98. 8		
	5	188	103. 3	20, 935	91. 9	3, 345	105. 9	37, 871	86. 2		
	6	194	94. 6	27, 319	96. 3	2, 820	91. 1	35, 102	81. 4		
	7	170	93. 4	25, 225	96. 2	3, 376	104. 9	32, 378	92. 4		
	8	157	96. 9	19, 518	100. 4	2, 621	98.8	29, 797	96. 2		
	9	156	92. 9	25, 448	96. 2	2, 708	89. 1	29, 607	75. 4		
	10	182	93. 8	22, 919	91. 1	3, 137	99. 1	39, 136	101.7		
	11	181	91. 0	25, 178	105. 2	3, 047	99. 9	32, 662	78. 8		
	12	177	88. 9	24, 012	93. 5	2, 813	88. 9	36, 982	86. 7		
2019 -	1	155	92. 3	15, 850	91.5	2, 510	83. 5	31, 925	91.0		
20.0	2	171	97. 7	24, 978	99. 7	2, 783	95. 6	31, 878	88. 5		
	3	162	92. 0	21, 859	93. 5	2, 703	82. 9	34, 578	85. 6		
	4	173	91. 1	21, 659	90. 2	2, 728	80. 7	33, 794	80. 9		
	5	173	93. 6	23, 299 14, 796	90. Z 70. 7	2, 516	75. 5	33, 194 33, 197	87. 7		
	6	167	86. 1	25, 926	94. 9	2, 523	89. 5	34, 972	99. 6		
	7	164	96. 5	21, 364	84. 7	2, 364	70.0	28, 371	87. 6		
	8			16, 997	87. 1	1, 808	69. 0				
資料 : 絹絲	磁物 生 産 乳	数量は(一社)日本網	日人繊織物工業会	主要3産地の生産量	- 出荷数量け冬産	地組合の発表に上	<b>ス</b>				

Source : Japan Silk &Rayon Weaver's Association

### -資料・海外-

### (1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区	分	2010年	2011年	2012年
		トン	トン	トン
日本	Japan	265	220	202
中国	China	621,000	661,000	655,000
インド	India	131,924	139,871	144,434
ウズベキスタン	Uzbekistan	23,942	24,667	25,012
イラン	Iran	9,780	10,208	10,637
タイ	Thailand	4,650	4,580	4,580
ブラジル	Brazil	4,439	3,037	2,620
ベトナム	Vietnam	2,570	2,500	2,500
北朝鮮	North Korea	1,016	900	900
トルコ	Turkey	126	151	134
ブルガリア	Bulgaria	75	48	73
インドネシア	Indonesia	161	143	143
シリア	Syria	3.0	5	6.0
主要国の計	Total	799,951	847,330	846,241

区	分	2013年	2014年	2015年
		トン	トン	トン
日本	Japan	168	149	135
中国	China	643,000	641,000	628,000
インド	India	142487	164,538	157,524
ウズベキスタン	Uzbekistan	26,455	25,000	27,237
イラン	Iran	11,065	11,493	12,538
タイ	Thailand	4,755	4,839	4,881
ブラジル	Brazil	2,608	2,563	2,544
ベトナム	Vietnam	2,500	2,495	2,515
北朝鮮	North Korea	900	857	937
トルコ	Turkey	121	80	75
ブルガリア	Bulgaria	73	65	65
インドネシア	Indonesia	114	71	57
シリア	Syria	5.0	5.0	3.0
主要国の計	Total	834,251	853,155	836,511

注1 日本は(一財)大日本蚕糸会、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、 ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕 委員会 (ISC)及びFAOの統計値を使用した。

#### 注2 生糸生産量からの推計を含む。

Note:1Figures of Japan are based on the data of the Dainippon Silk Foundation.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association(ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2As the figures of Vietnam(since2004) is not reported ,that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

### (4) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格 Spot Price of Various Silk Goods

2019年5月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)				/kg) nge)	
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	91.80	~	102.40	1,469	~	1,638
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	109.20	~	130.80	1,747	~	2,093
3	玉繭(double cocoon)		87.40	~	105.40	1,398	~	1,686
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	87.40	~	97.40	1,398	~	1,558
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	333.40 ~ 345.20		5,334	~	5,523	
6	生糸(raw silk)	21d、検験局検査	338.40	~	350.20	5,414	~	5,603
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	327.80	~	341.80	5,245	~	5,469
8	玉糸(doupion silk)	110d	345.80	~	364.80	5,533	~	5,837
区分	商品名称	規格	価格幅(	(元/)	(ートル)	価格幅(円/メートル		(ートル)
(item)	(goods name)	(size)	(prid	ce rar	nge)	(pri	ce rai	nge)
9	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	36.00 ~ 43.00		576	~	688	
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	57.50	~	65.50	920	~	1,048
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	48.60	~	51.60	778	~	826
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	40.00	~	45.00	640	~	720

注:1元=16円

### 2019年6月 平均 (month average)

区分	商品名称	規格	価格幅(元/kg)			価格幅(円/kg)		
(item)	(goods name)	(size)	(price range)			(pri	nge)	
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	94.00	~	102.50	1,504	~	1,640
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	109.00	~	127.50	1,744	~	2,040
3	玉繭(double cocoon)		86.00	~	104.00	1,376	~	1,664
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	84.50	~	94.50	1,352	~	1,512
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	336.00	~	344.00	5,376	~	5,504
6	生糸(raw silk)	21d、検験局検査	341.00	~	349.00	5,456	~	5,584
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	334.00	~	351.00	5,344	~	5,616
8	玉糸(doupion silk)	110d	328.00	~	338.00	5,248	~	5,408
区分	商品名称	規格	価格幅(	元//	(ートル)	価格幅(円/メ		(ートル)
(item)	(goods name)	(size)	(prid	e rar	nge)	(price ra		nge)
9	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	36.00	~	43.00	576	~	688
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	57.50	~	65.50	920	~	1,048
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	48.00	~	50.75	768	~	812
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	40.00	~	45.00	640	~	720

注:1元=16円

資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

Source: China Silk Exchange (Zhejiang Sheng Jia Xing)

2019年7月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)			価格幅(円/kg (price range)		
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	99.63	~	108.50	1,594	~	1,736
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	117.63	~	128.50	1,882	~	2,056
3	玉繭(double cocoon)		90.50	~	108.50	1,448	~	1,736
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	83.25	~	93.25	1,332	~	1,492
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	359.50	~	367.00	5,752	~	5,872
6	生糸(raw silk)	21d、検験局検査	364.50	~	372.75	5,832	~	5,964
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	355.63	~	369.88	5,690	~	5,918
8	玉糸(doupion silk)	110d	351.00	~	359.13	5,616	~	5,746
区分	商品名称	規格	価格幅(	(元/メ	ートル)	価格幅(円/メート)		4―トル)
(item)	(goods name)	(size)	(prid	ce rar	nge)	(price range)		nge)
9	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	36.00	~	43.00	576	~	688
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	57.50	~	65.50	920	~	1,048
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	48.00	~	51.00	768	~	816
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	40.00	~	45.00	640	~	720

注:1元=16円

### 2019年8月 平均 (month average)

区分	商品名称	規格	価格幅(元/kg)			価格	幅(円	/kg)
(item)	(goods name)	(size)	(price range)			(price range)		
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	112.40	~	127.00	1,686	~	1,905
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	128.40	~	140.40	1,926	~	2,106
3	玉繭(double cocoon)		108.00	~	125.40	1,620	~	1,881
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	95.20	~	105.20	1,428	~	1,578
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	377.00	~	383.00	5,655	~	5,745
6	生糸(raw silk)	21d、検験局検査	382.00	~	388.00	5,730	~	5,820
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	398.40	~	424.40	5,976	~	6,366
8	玉糸(doupion silk)	110d	400.00	~	420.00	6,000	~	6,300
区分	商品名称	規格	価格幅(	(元/メ	ートル)	価格幅(円/メートル		(ートル)
(item)	(goods name)	(size)	(prid	ce rar	ige)	(price ran		nge)
9	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	36.00	~	43.00	540	~	645
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	57.50	~	65.50	863	~	983
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	48.00	~	51.00	720	~	765
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	40.00	~	45.00	600	~	675

注:1元=15円

※「シルクレポート」の記事と統計データは、下記のホームページでもご覧になれます。

# http://www.silk-teikei.jp

シルクレポート 2019 年 10 月号 No.63 令和元年 10 月 1 日発行

編集/発行 一般財団法人大日本蚕糸会

〒 100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

TEL: 03-3214-3500 FAX: 03-3214-3511

URL:http://www.silk-teikei.jp

製本/印刷 株式会社正大印刷社